

2025年1月 SPF豚セミナー

認定農場の生産成績年次報告 (2023 (令和5) 年度)



日本SPF豚協会

SPF豚認定農場の構成と推移

認定農場の内訳

GGP・GP 農場	CM農場			
	CM農場 合計	一貫	繁殖専門Ⅱ	肥育専門Ⅱ
17	117	91	11	15

上記農場数には一貫の一部門の専門農場は含まない

子取り用雌豚① 母豚頭数の推移

全国 (頭)

SPF (頭)

1,200,000

120,000

1,000,000

100,000

800,000

80,000

600,000

60,000

400,000

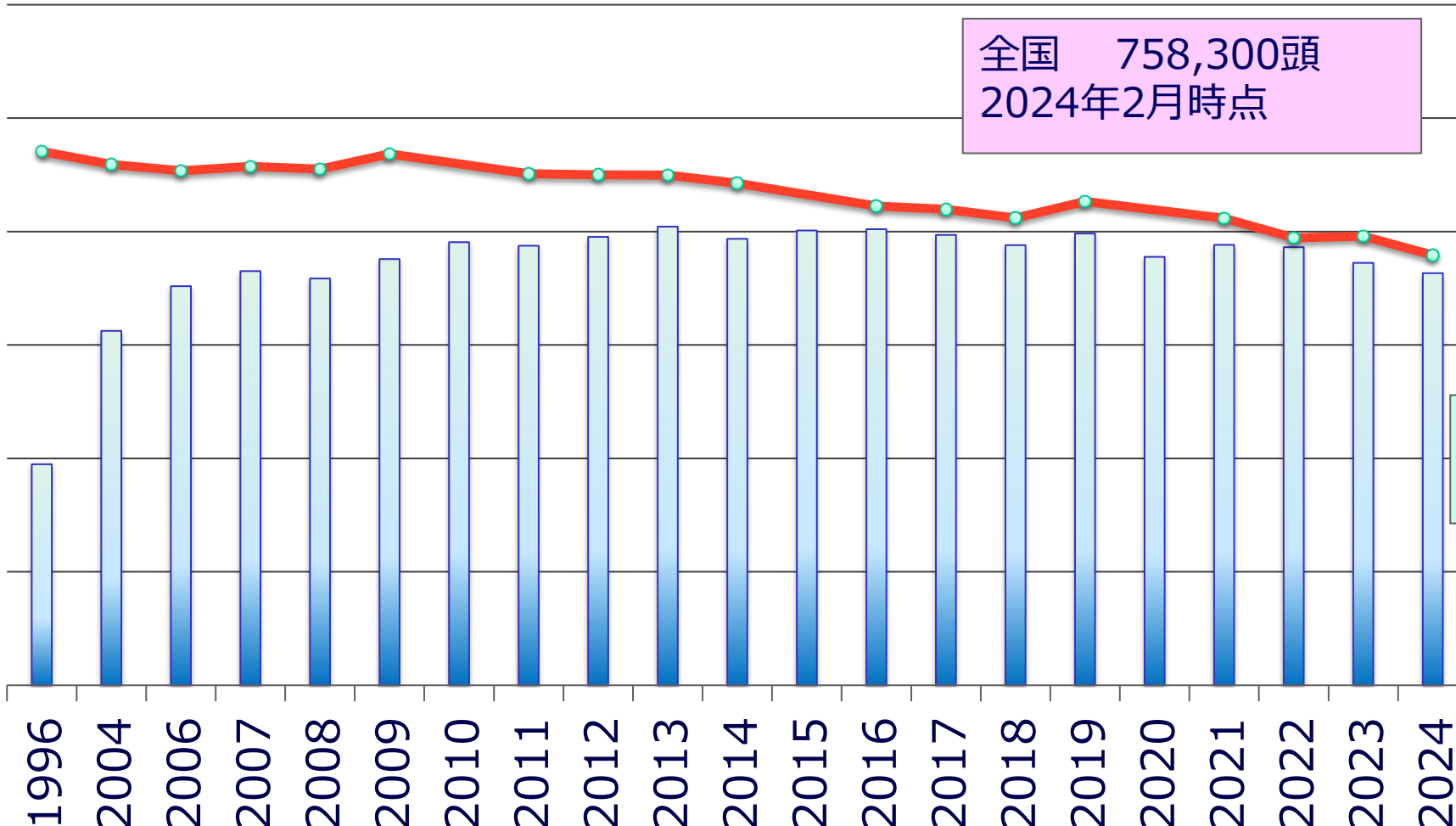
SPF認定 72,671頭
(-1,810頭) -2.4%

200,000

20,000

0

0



■ S P F 猪認定母豚数 ● 全国の母豚数

折れ線グラフと棒グラフが重なるとシェア10%



全国 (戸)

子取り用雌豚②

飼養戸数の推移

SPF (戸)

15,000

750

10,000

500

5,000

250

0

0

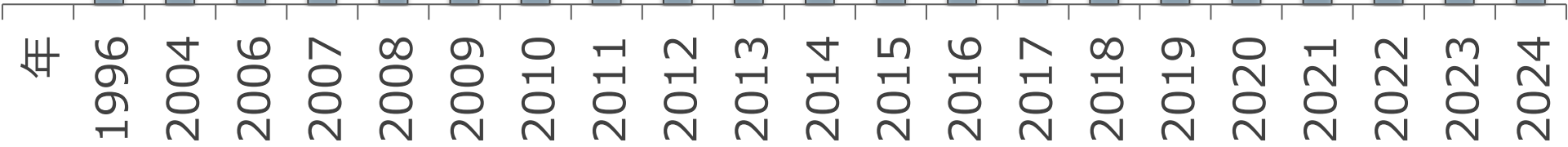
全国 2004年 7,770戸
2023年までに66%減

全国 2024年 2,390戸
(-250戸) -9.5%対前年

150戸 2015年から
20%減

SPF認定 2024年 119戸
(-6戸)

166戸 2004年
から 28%減

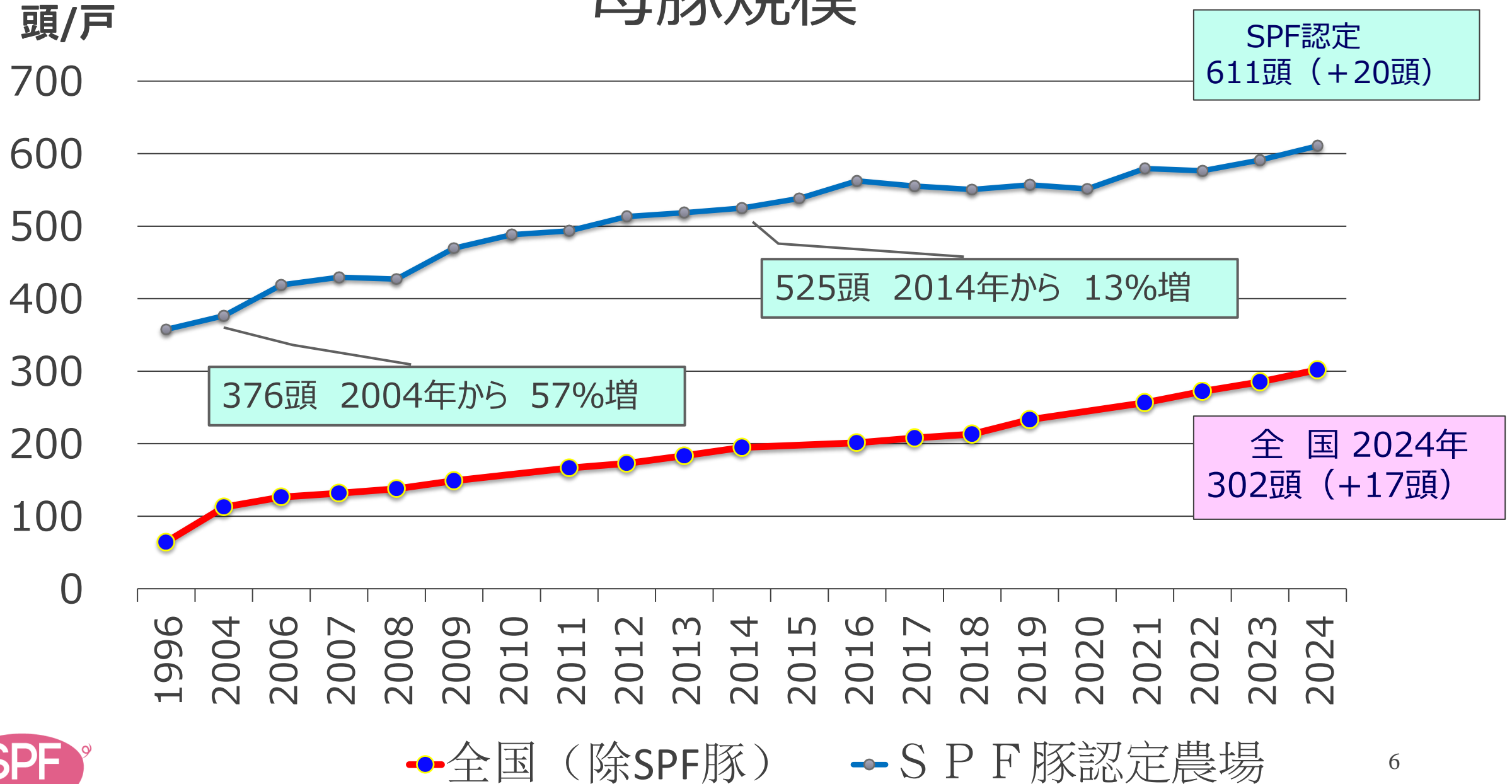


■ S P F 豚認定戸数 ● 全国の戸数(子取り用)

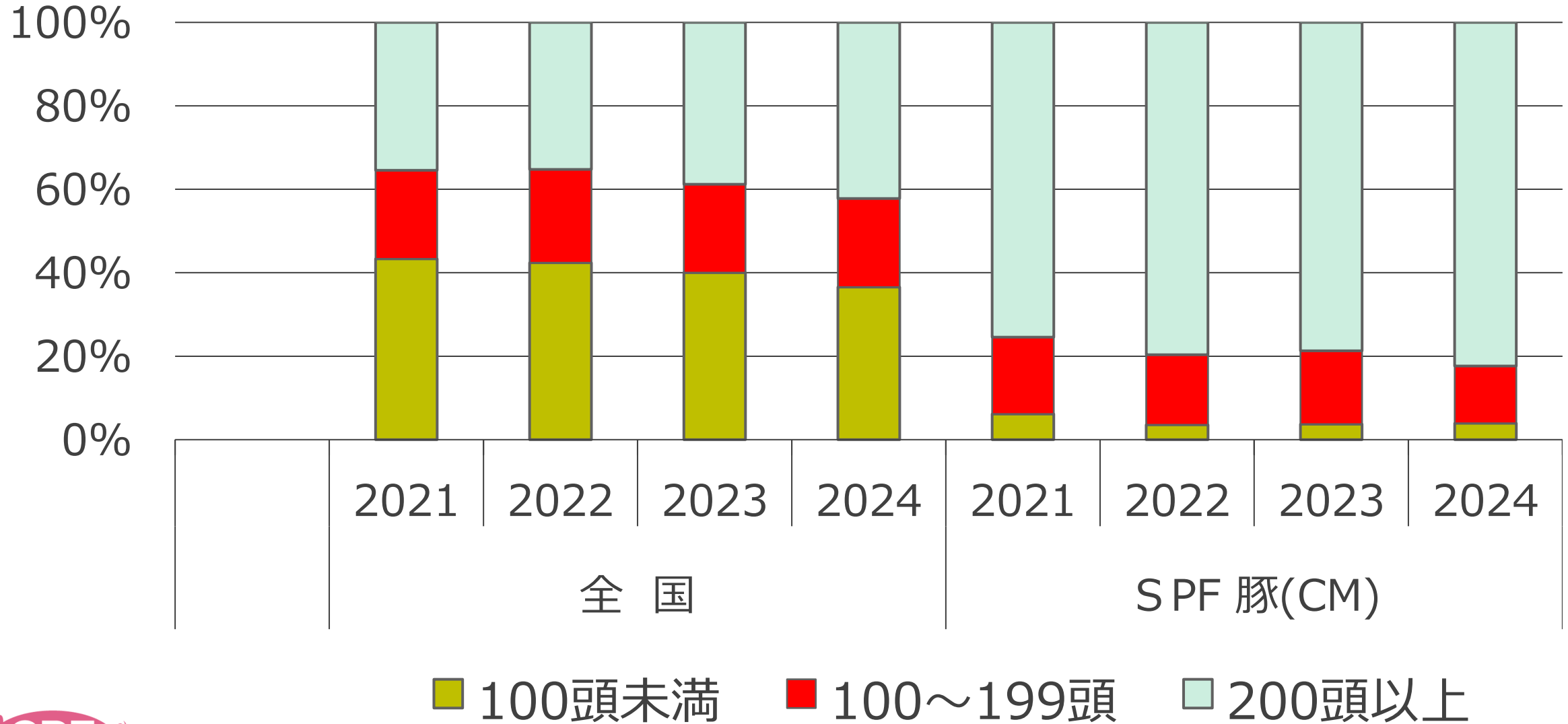


折れ線グラフと棒グラフが重なるとシェア5% ('24年は5%)

母豚規模

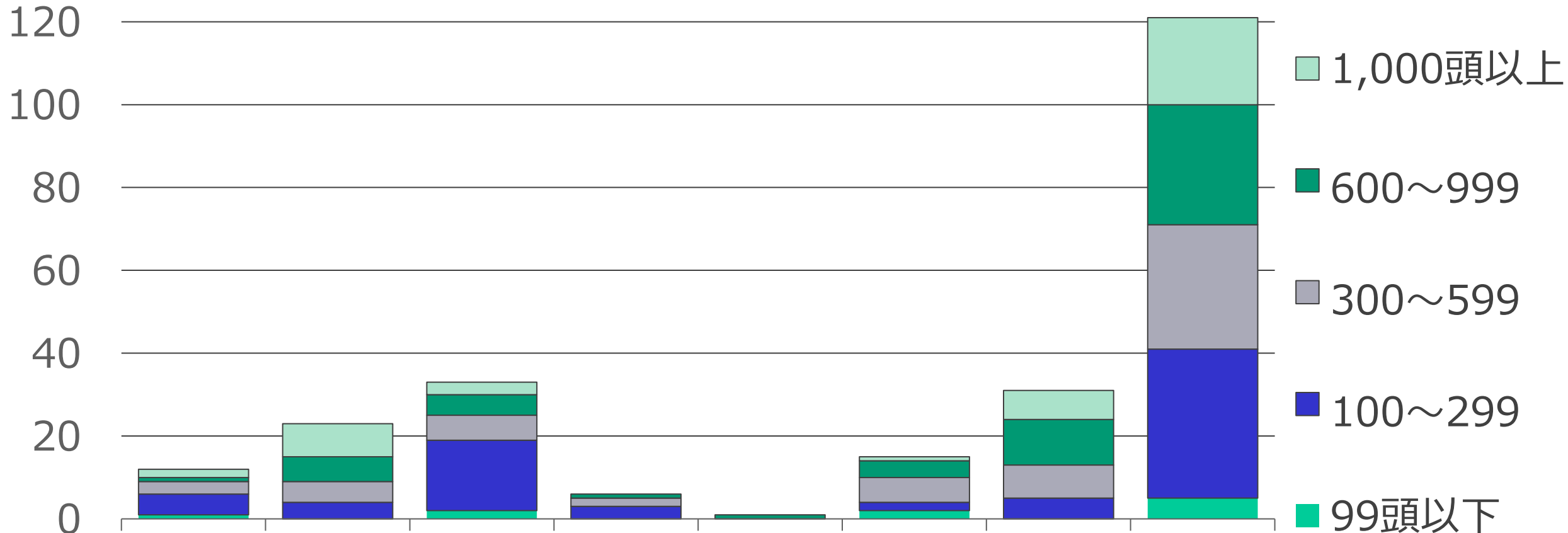


子取り用雌豚飼養規模別戸数の割合推移



SPF認定農場の地域別及び母豚規模別戸数

(2024年3月)



北海道

12

東北

23

関東

33

北信越

6

東海近畿

1

中四国

15

九州

31

合計

121

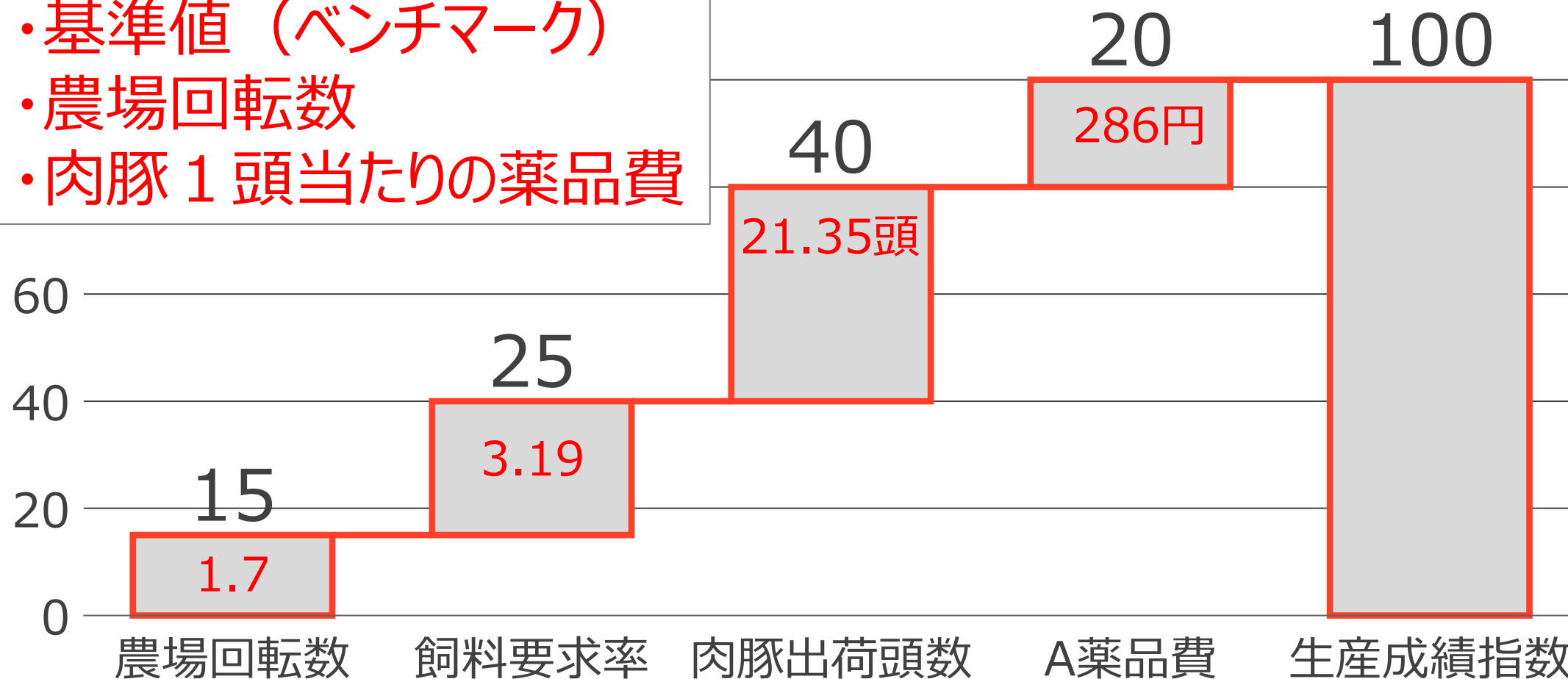
I. 一貫生産農場

対象89農場（平均母豚数594頭）

一貫生産農場の生産成績指数の内訳

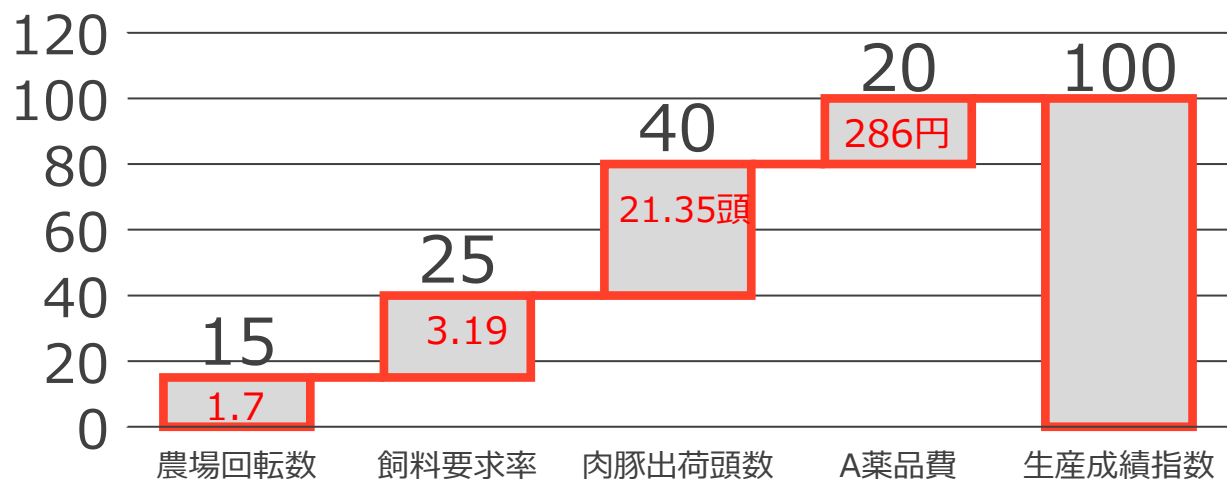
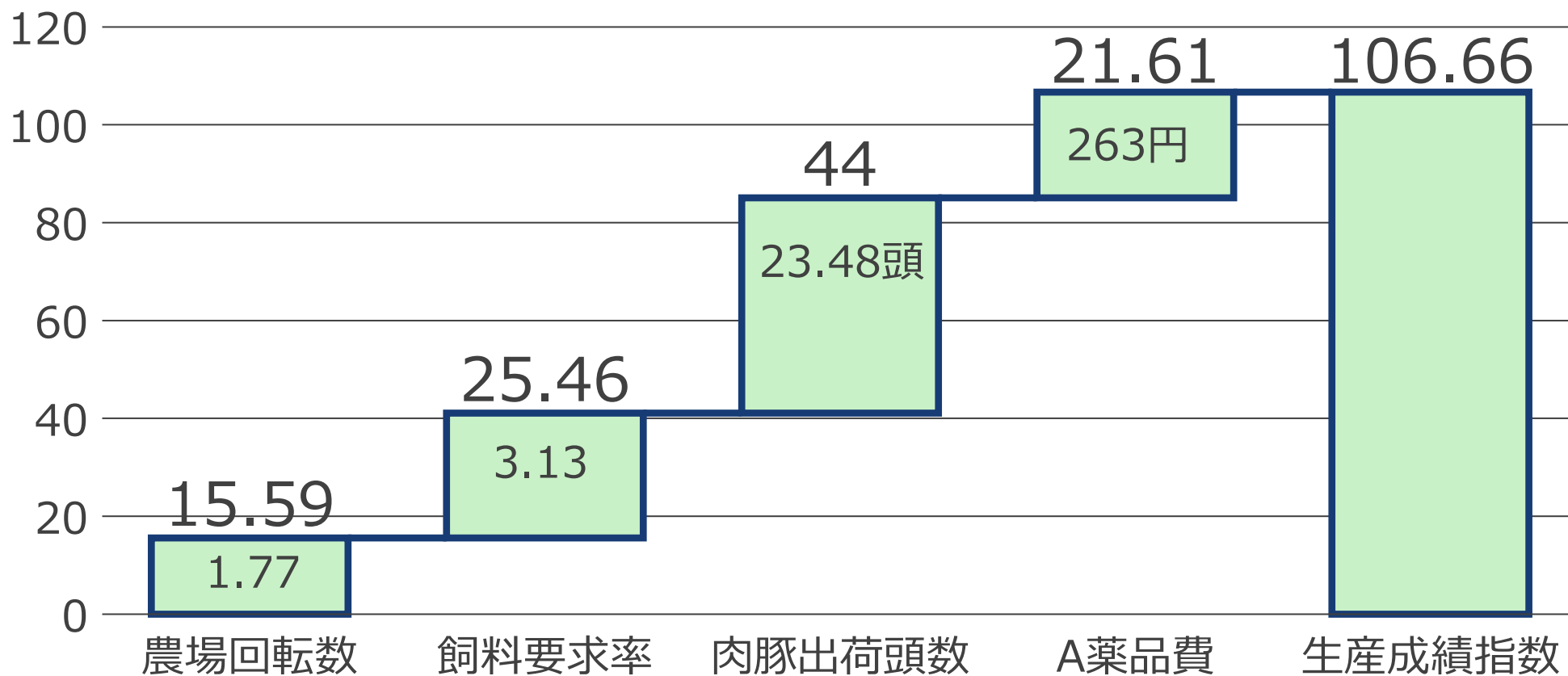
生産成績評価の特徴

- ・基準値（ベンチマーク）
- ・農場回転数
- ・肉豚1頭当たりの薬品費



* (赤字)基準値

一貫生産



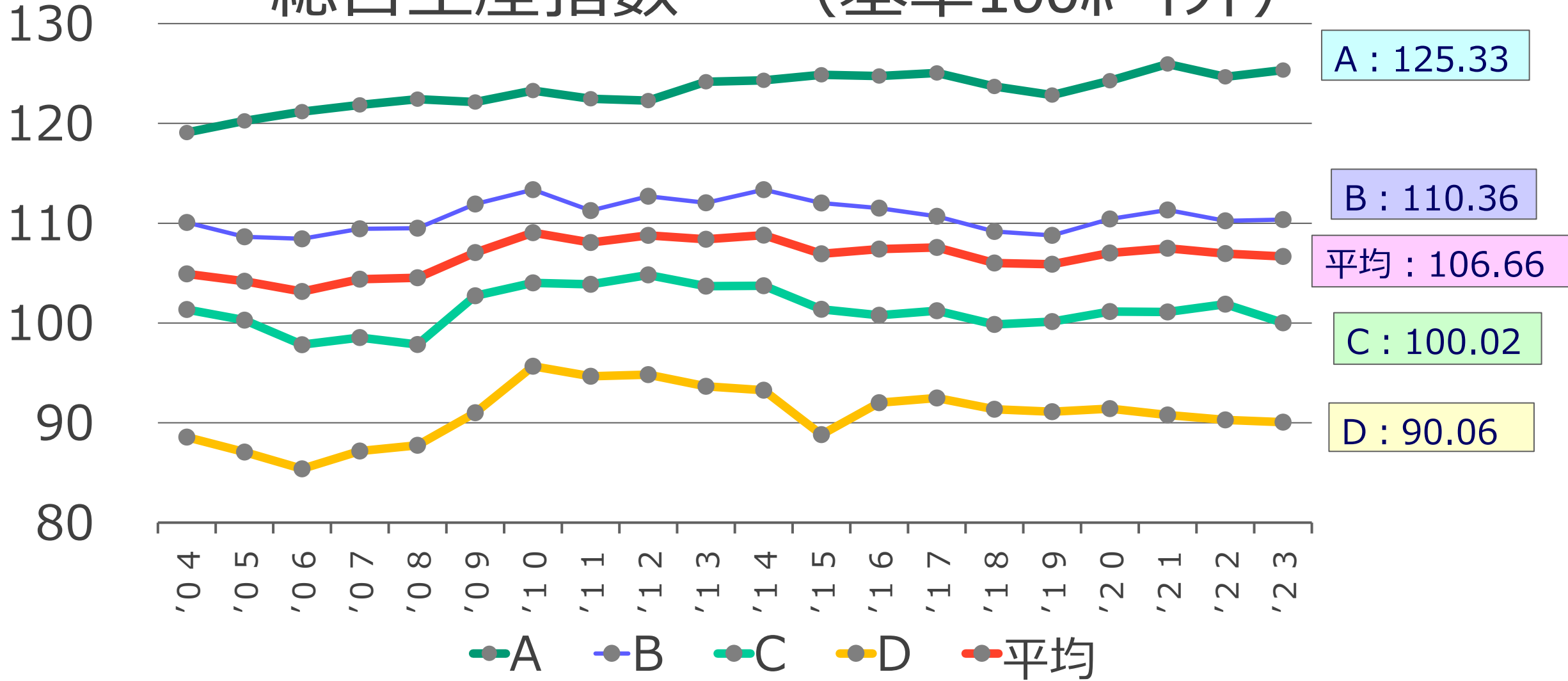
2023年度 平均値



基準値：2002年度の平均値

(一貫)

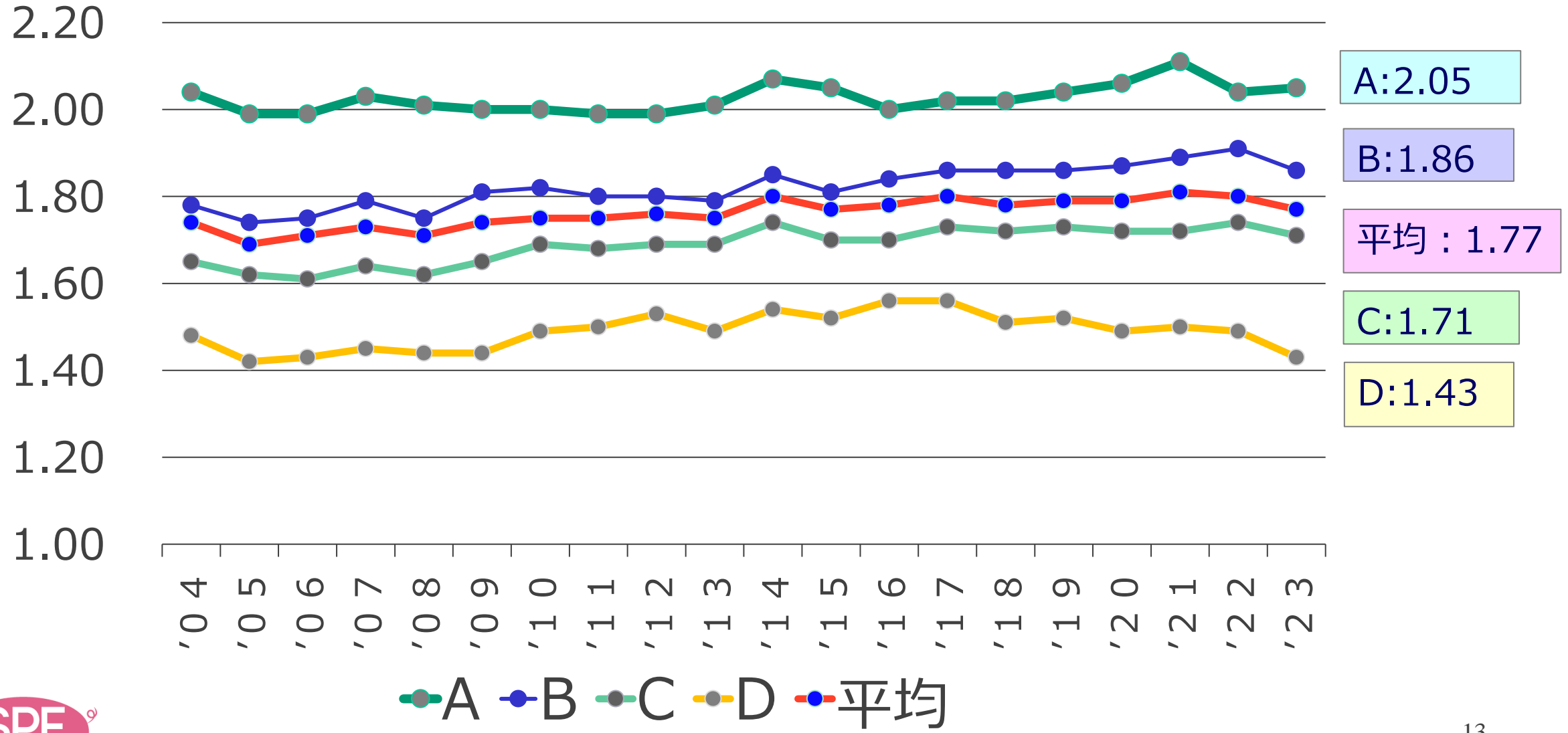
総合生産指数 (基準100ポイント)



総合生産指数 : 昨年比99.7%で横這い

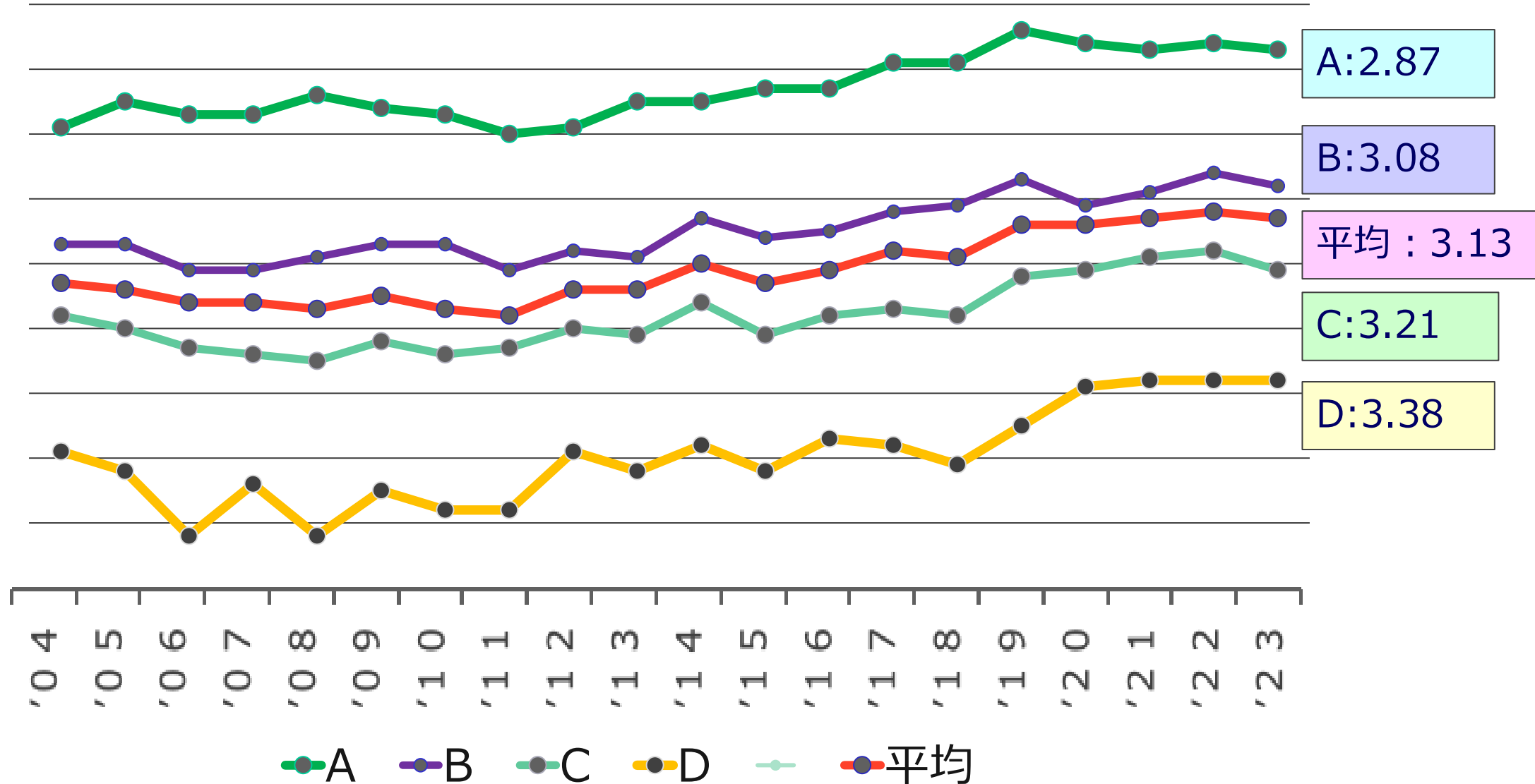


農場回轉数 (基準値1.7 : 15)



農場飼料要求率 (基準値3.19 : 25)

2.80
2.90
3.00
3.10
3.20
3.30
3.40
3.50
3.60
3.70

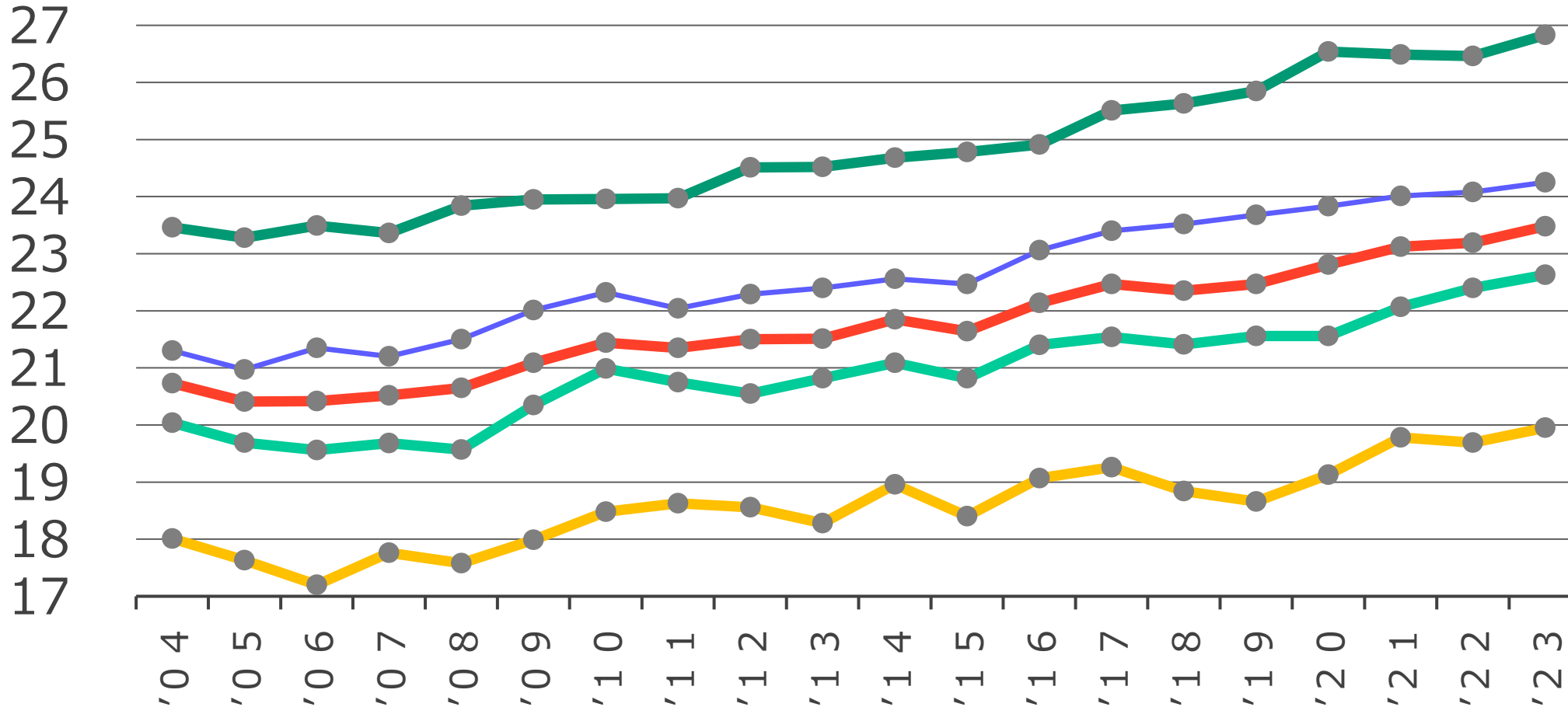


'23は前年に比べ横這い、過去19年間で0.10改善

(一貫)

1 母豚あたり年間肉豚出荷頭数 (基準値21.35頭 : 40ホ°イ卜)

頭/母豚・年



A : 26.83

B : 24.25

平均 : 23.48

C : 22.63

D : 19.95

● A ● B ● C ● D ● 平均

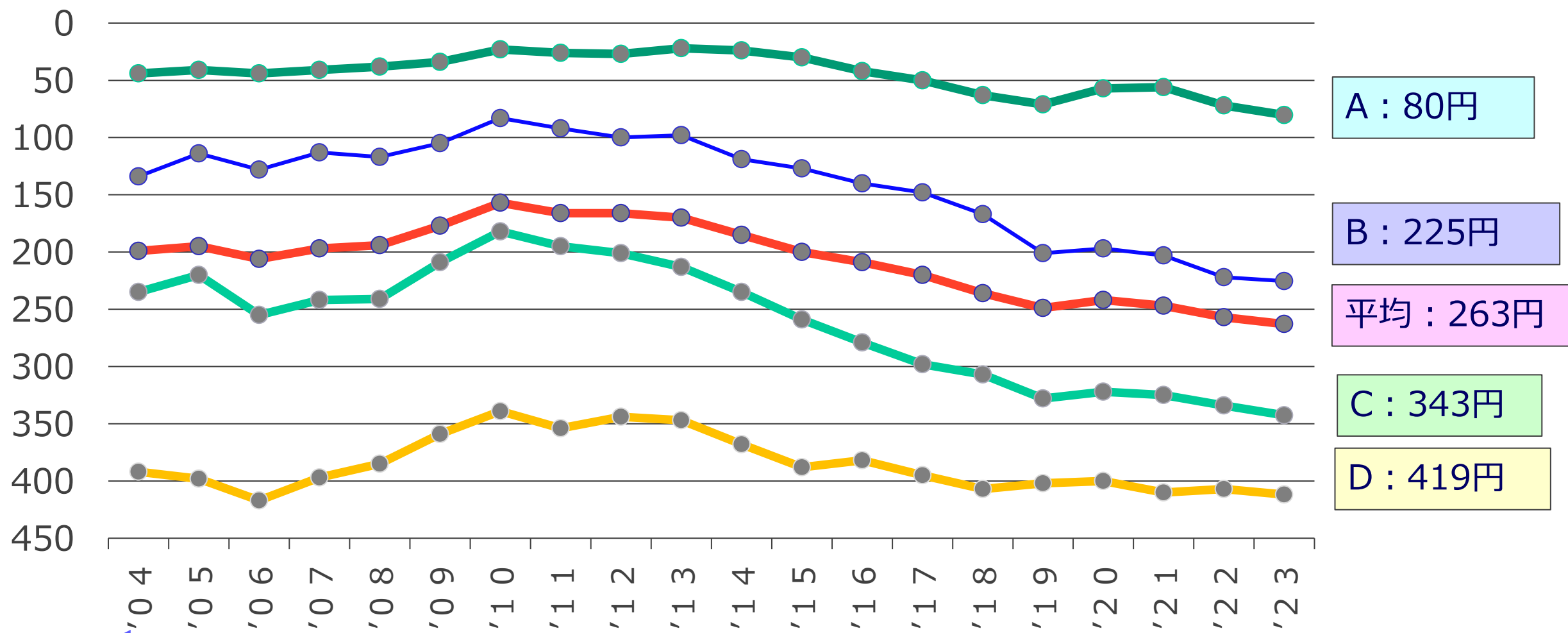


出荷肉豚 1 頭当りA分類薬品費（抗菌剤）

（一貫）

（基準値286円：20ホ°イ卜）

円/頭



← 駆虫剤費を含む期間 →

● A ● B ● C ● D ● 平均




10年間で増加したA薬品代はどれほど

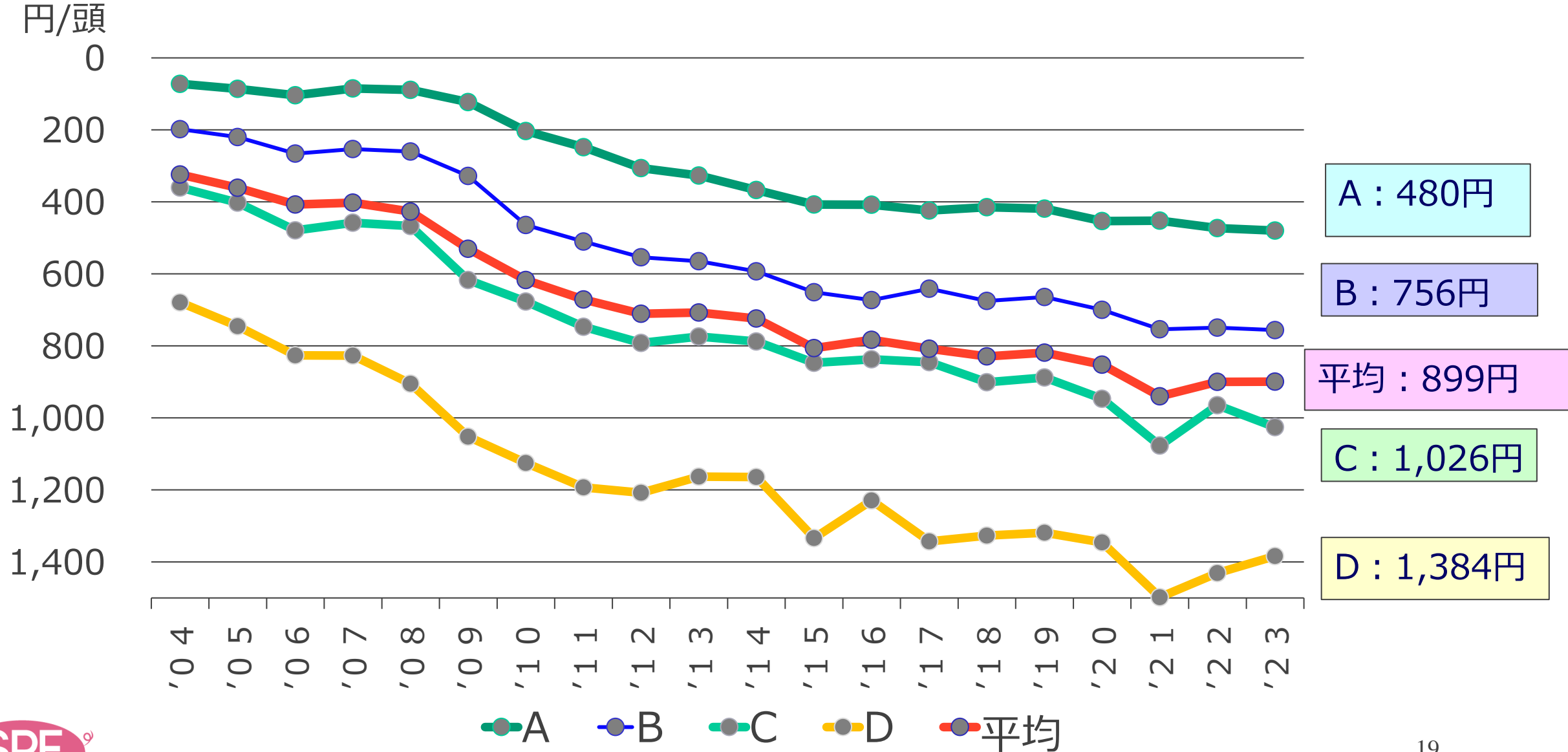
- 2014年 170円 → 2023年 263円 肉豚 1 頭あたり 9 3 円増加
- 認定農場の平均肉豚出荷頭数 (母豚594頭、肉豚23.48頭/母豚)13,947頭で試算すると
 - 年間約 1 3 0 万円コストアップ
- これを薬品に換算すると (50kgの豚に3回接種を 1 セットとすると)
 - アンピシリン注では @1,800/20g 722本分
 - 50kg肥育豚 (0.25 g /頭) → (57,780接種分)
 - エクセネルでは @8,600/5g 151本分
 - 50kg肥育豚 (0.1 g /頭) → (7,558接種分)

A薬品費が平均値に近い農場での比較

(一貫母豚千頭 肉豚25千頭出荷)

	2014	2023	2023-2014
A薬品費 合計	4,652,100	6,749,450	2,097,350
ペニシリン系	1,304,900	3,033,750	↓
テトラサイクリン系	1,016,000	1,027,000	¥84/肉豚 増加
フルオロキノロン系	9,600	132,600	
セファロスポリン系		172,000	
マクロライド系	2,212,000	1,196,100	 同効果の薬剤に置き換え
ジテンペル系		1,188,000	
その他	119,200		

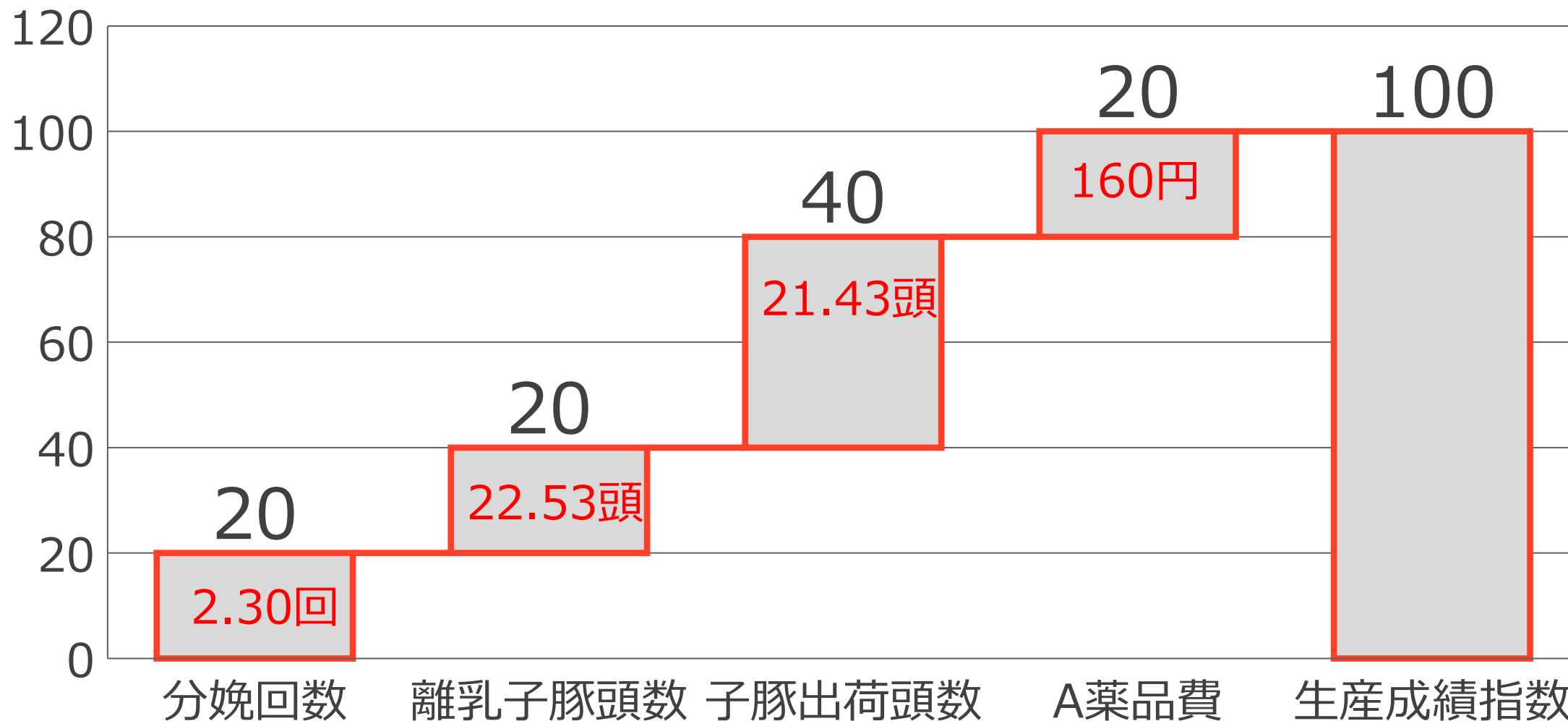
参考 出荷肉豚1頭あたりB分類薬品費 (ワクチン)



Ⅱ. 繁殖専門農場

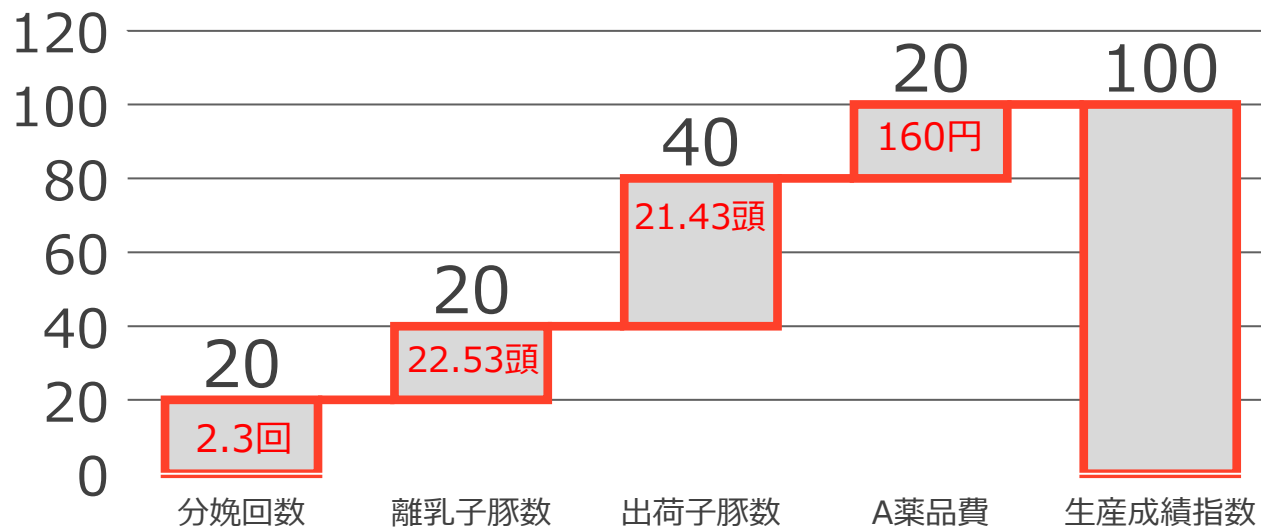
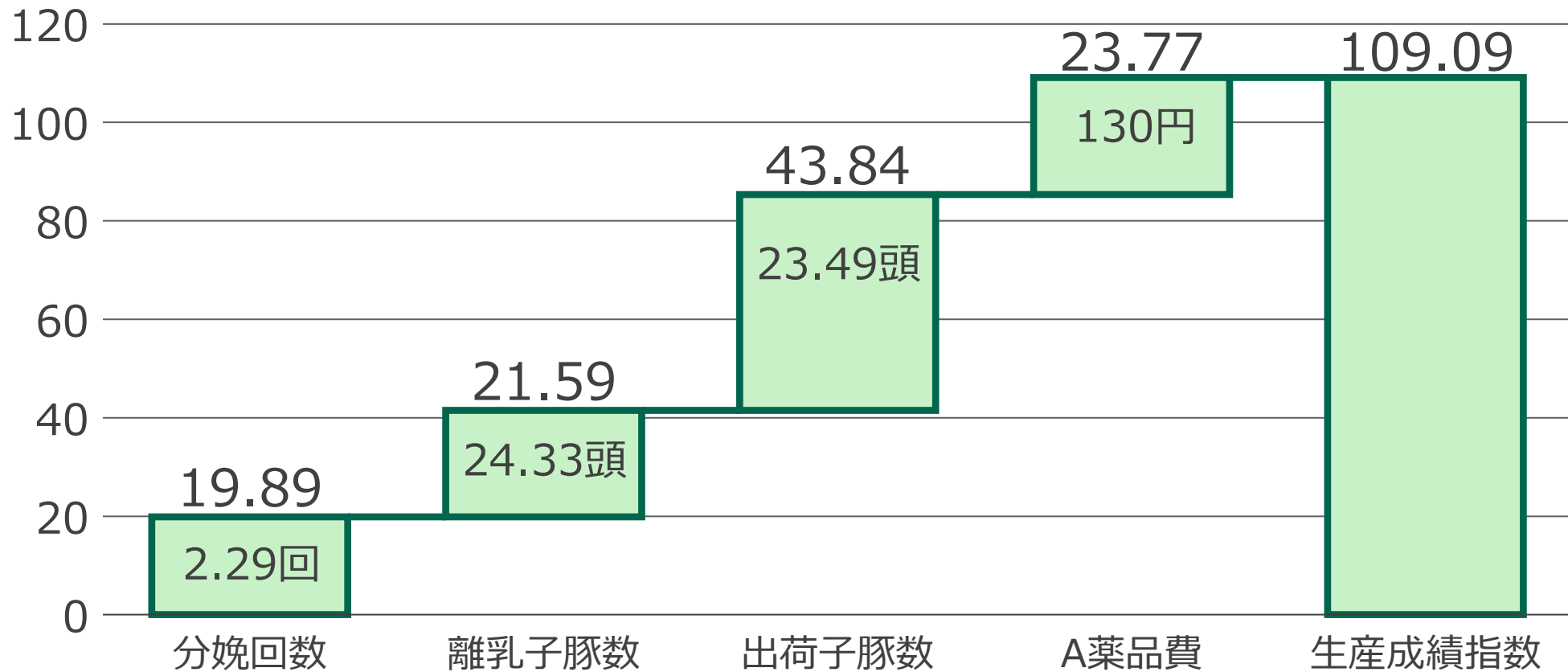
繁殖-Ⅱ：対象11農場

繁殖専門農場の生産成績指数の内訳 (基準値)



* (赤字)基準値

繁殖専門Ⅱ

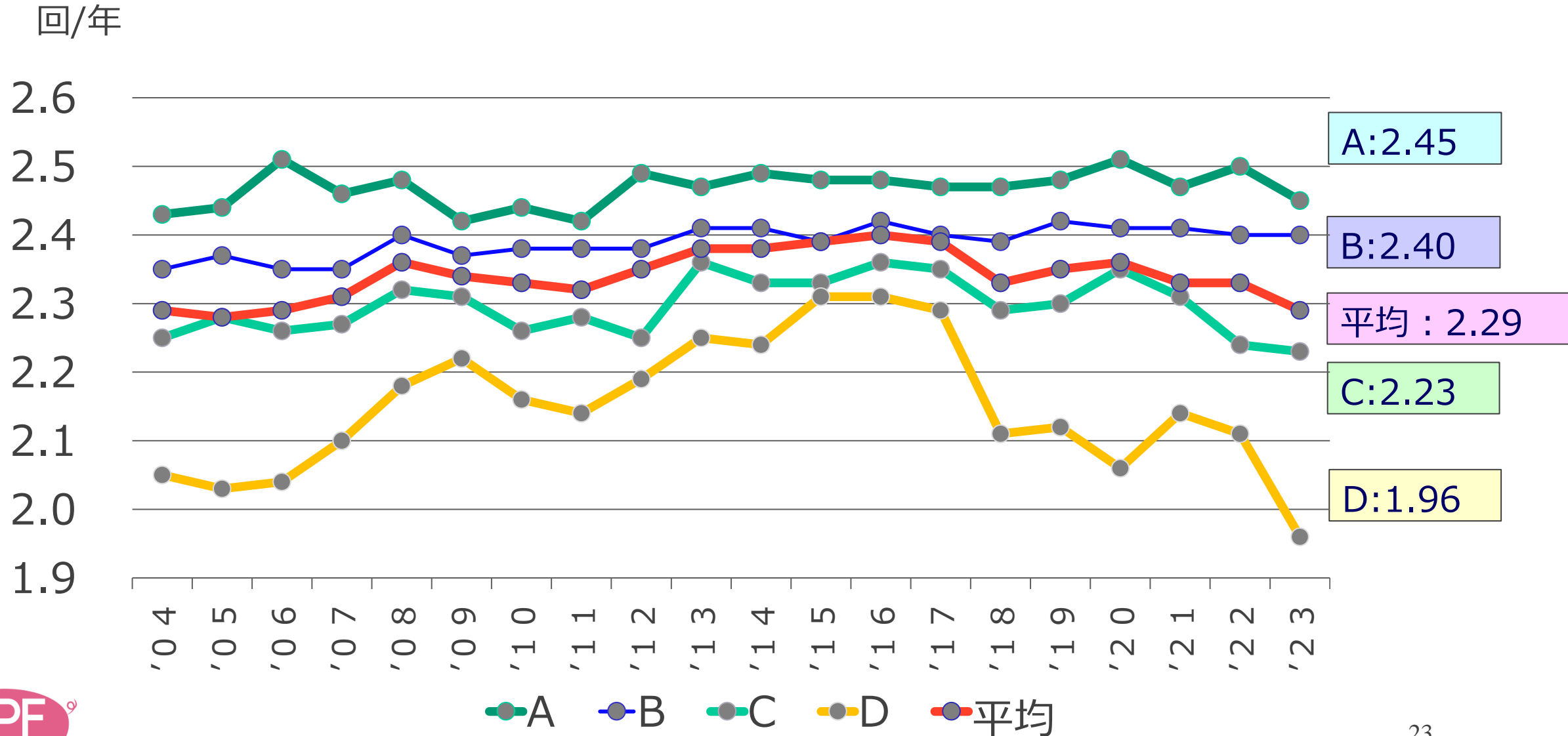


2023年度の平均値



基準値：2002年度の平均値

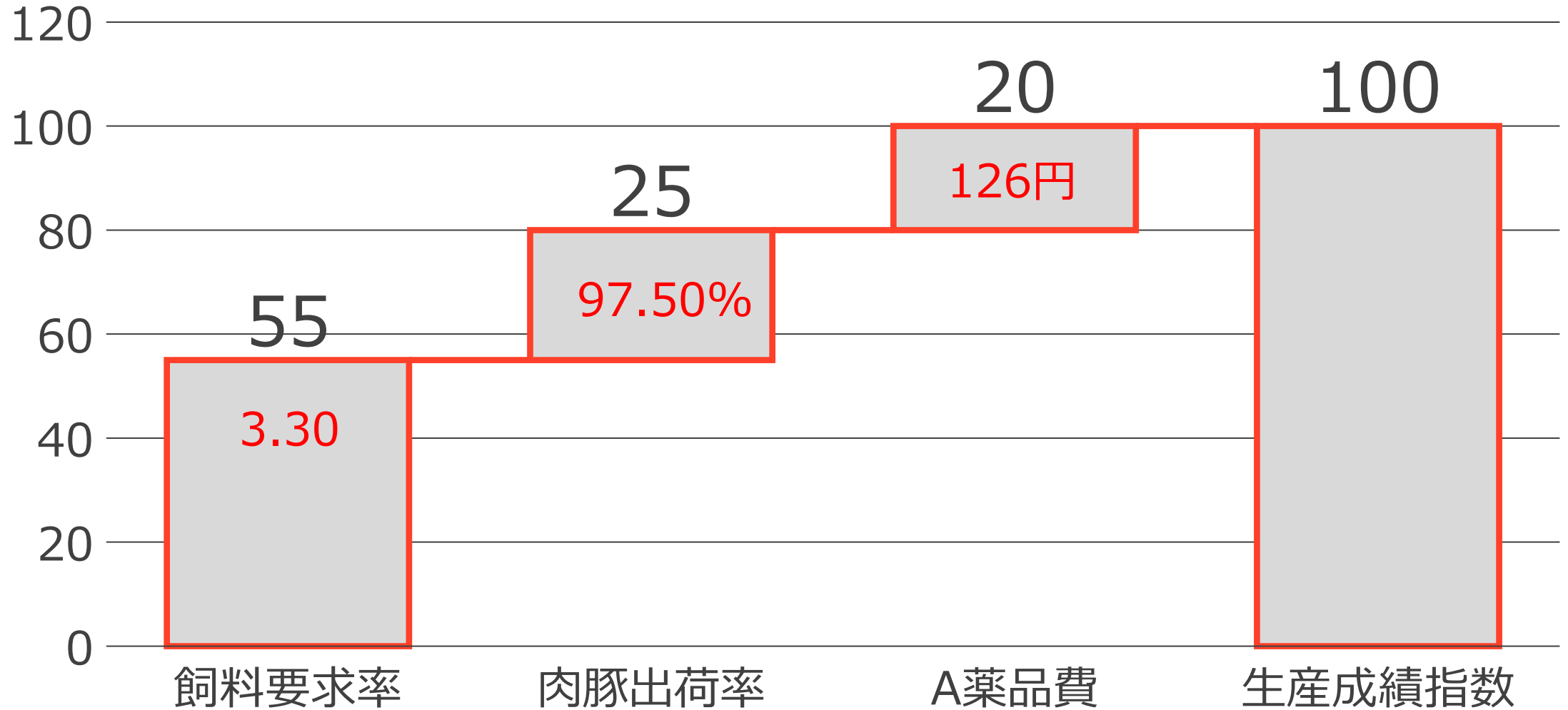
1母豚あたり年間分娩回数 (基準値2.30 : 20ホ°イト)



Ⅱ. 肥育専門農場

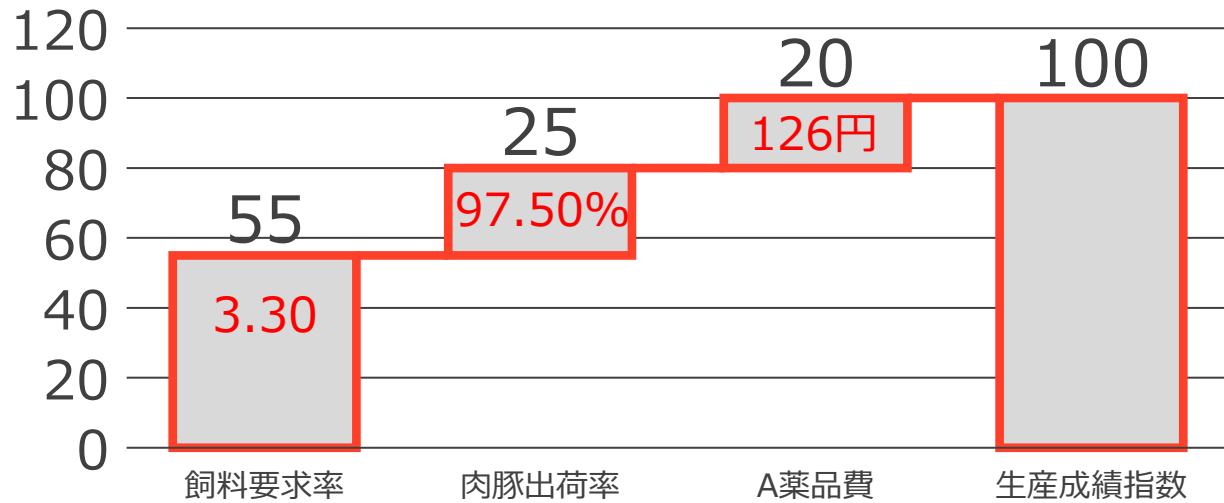
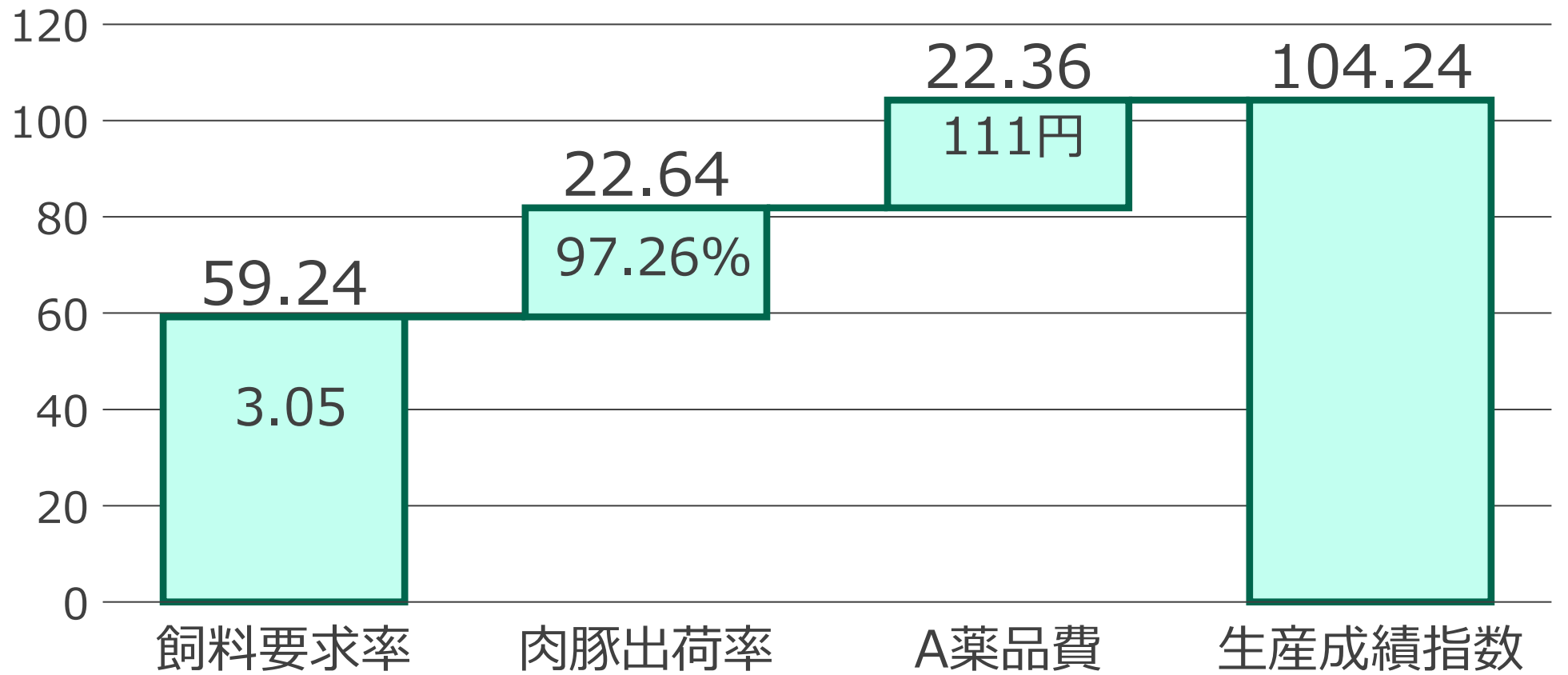
肥育-Ⅱ：集計対象15農場

肥育専門農場の生産成績指数の内訳 (基準値)



* (赤字)基準値

肥育専門Ⅱ



2023年度の平均値



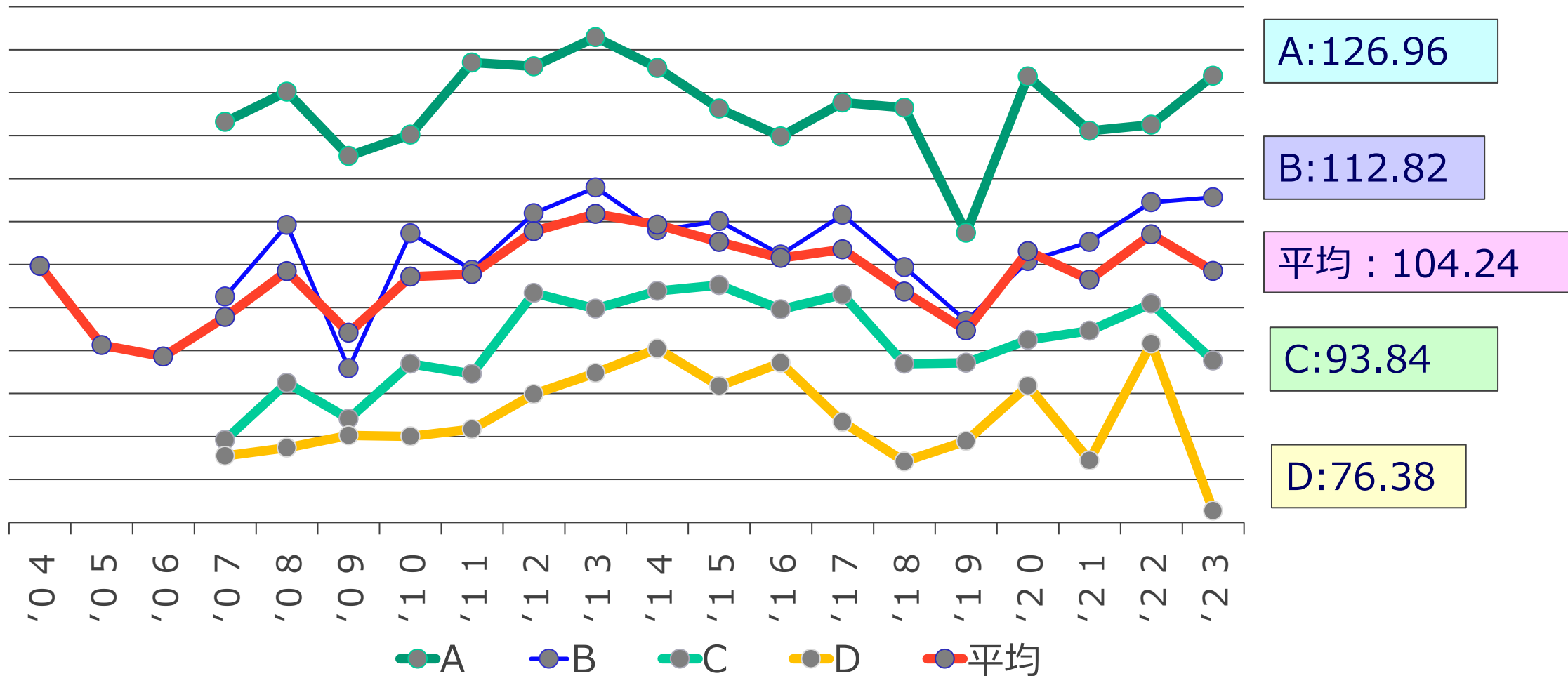
基準値：2002年度の平均値

総合生産指数 (基準100ポイント)

(肥育II)

ポイント

135
130
125
120
115
110
105
100
95
90
85
80
75



長期的にも改善傾向になく、今年度もAグループ以外悪化傾向にある。



まとめ

- ・認定農場が6戸減少した。母豚数も減少傾向にある。
母豚規模は増加。
- ・一貫生産農場は、母豚あたりの肉豚出荷頭数はさらに頭数を伸ばしたが、農場飼料要求率は横ばい、農場回転率とA薬品費は悪化。
よって、総合生産指数もほぼ横ばいであった。
- ・繁殖専門農場は、A薬品費が減少したが、他の項目はいずれも前年に比べて悪化した。
- ・肥育専門農場は、要求率は改善したが、肉豚出荷率が悪化し、総合生産指数を下げる結果となった。

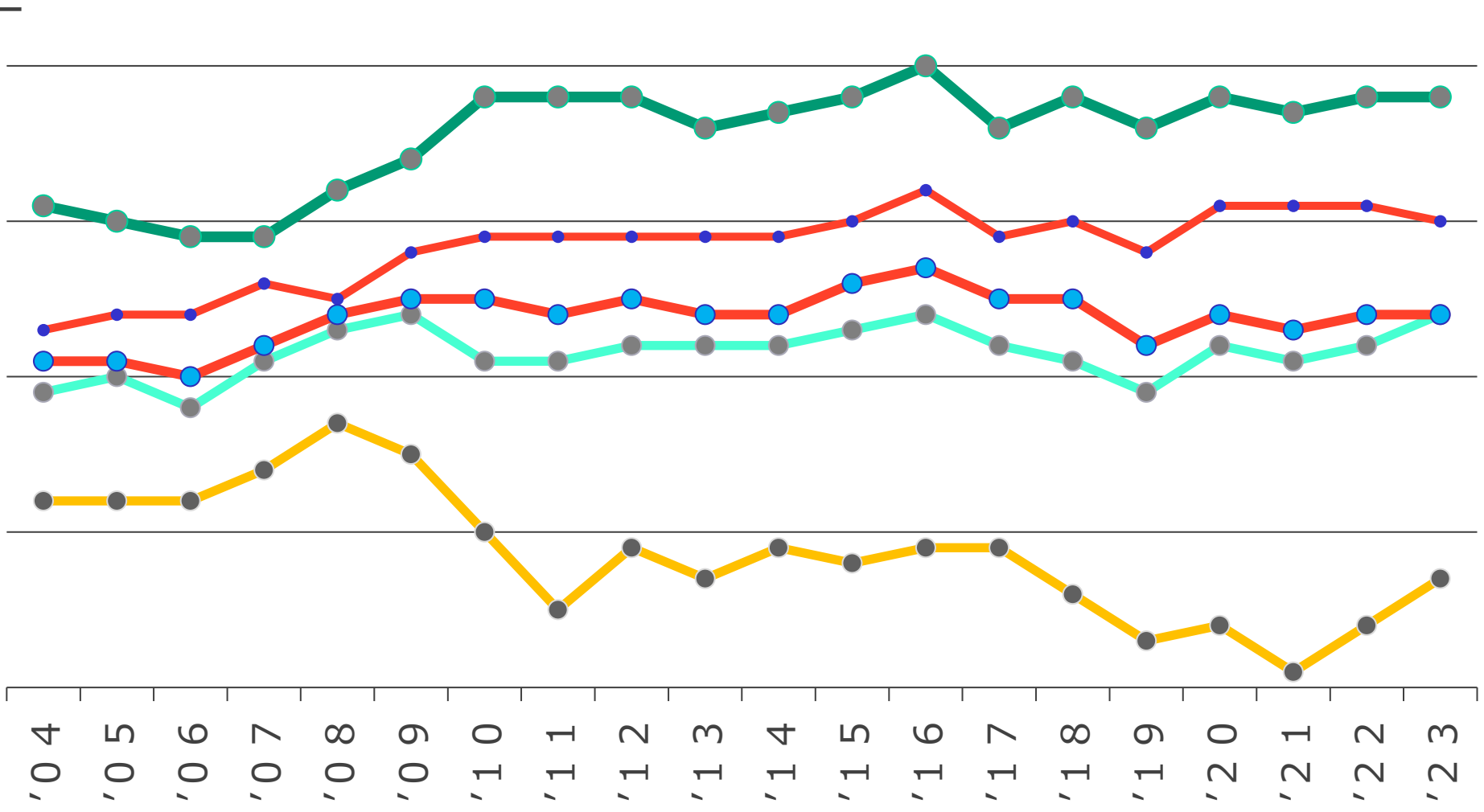
以下参考資料

(一貫)

母豚年間分娩回数

回/年

2.5
2.4
2.3
2.2
2.1



A : 2.48

B : 2.40

平均 : 2.34

C : 2.34

D : 2.17

● A ● B ● C ● D ● 平均

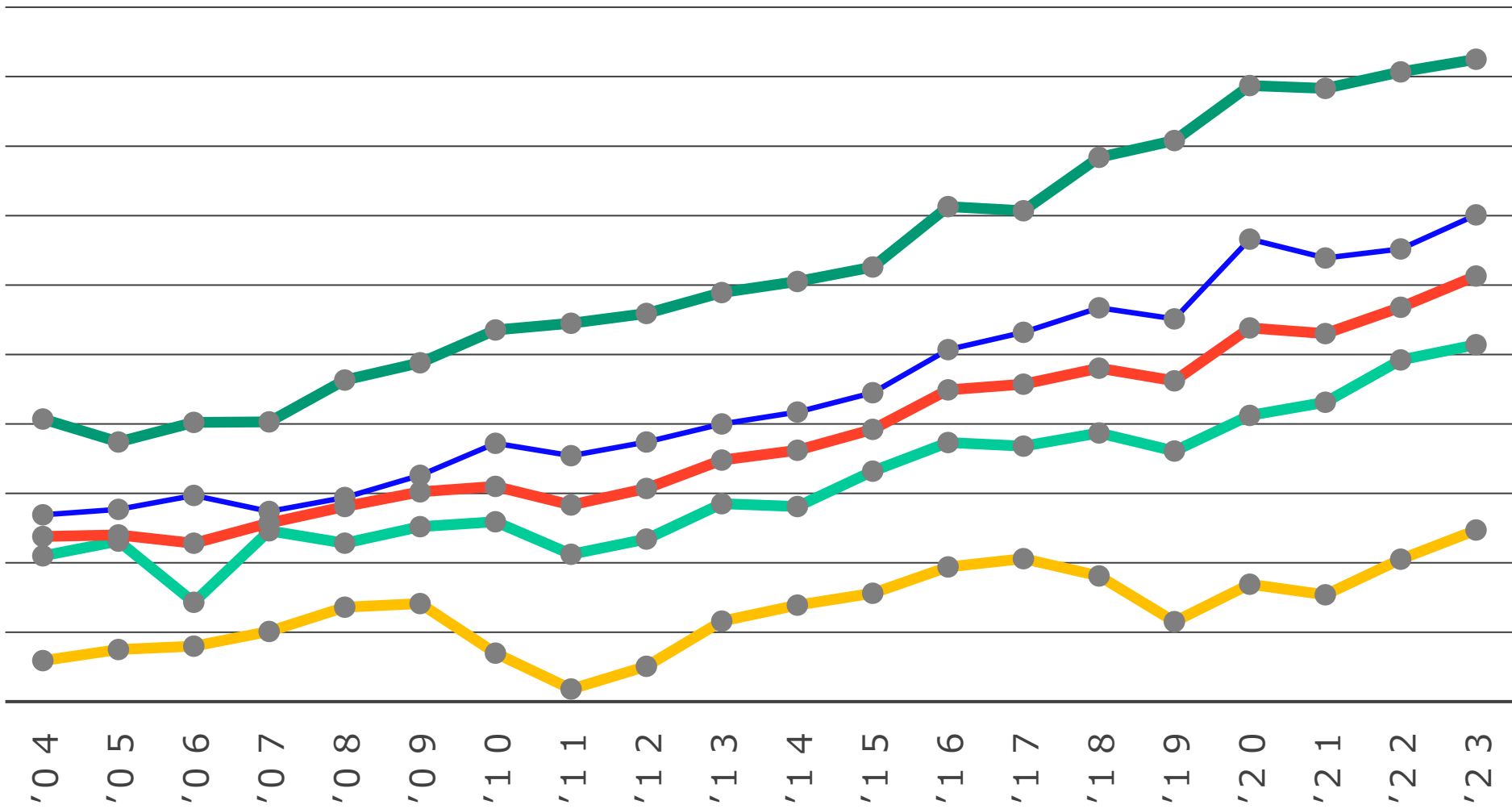


(一貫)

1 母豚あたり年間哺乳開始頭数

頭/母豚・年

32
31
30
29
28
27
26
25
24
23
22



A:31.25

B:29.01

平均 : 28.13

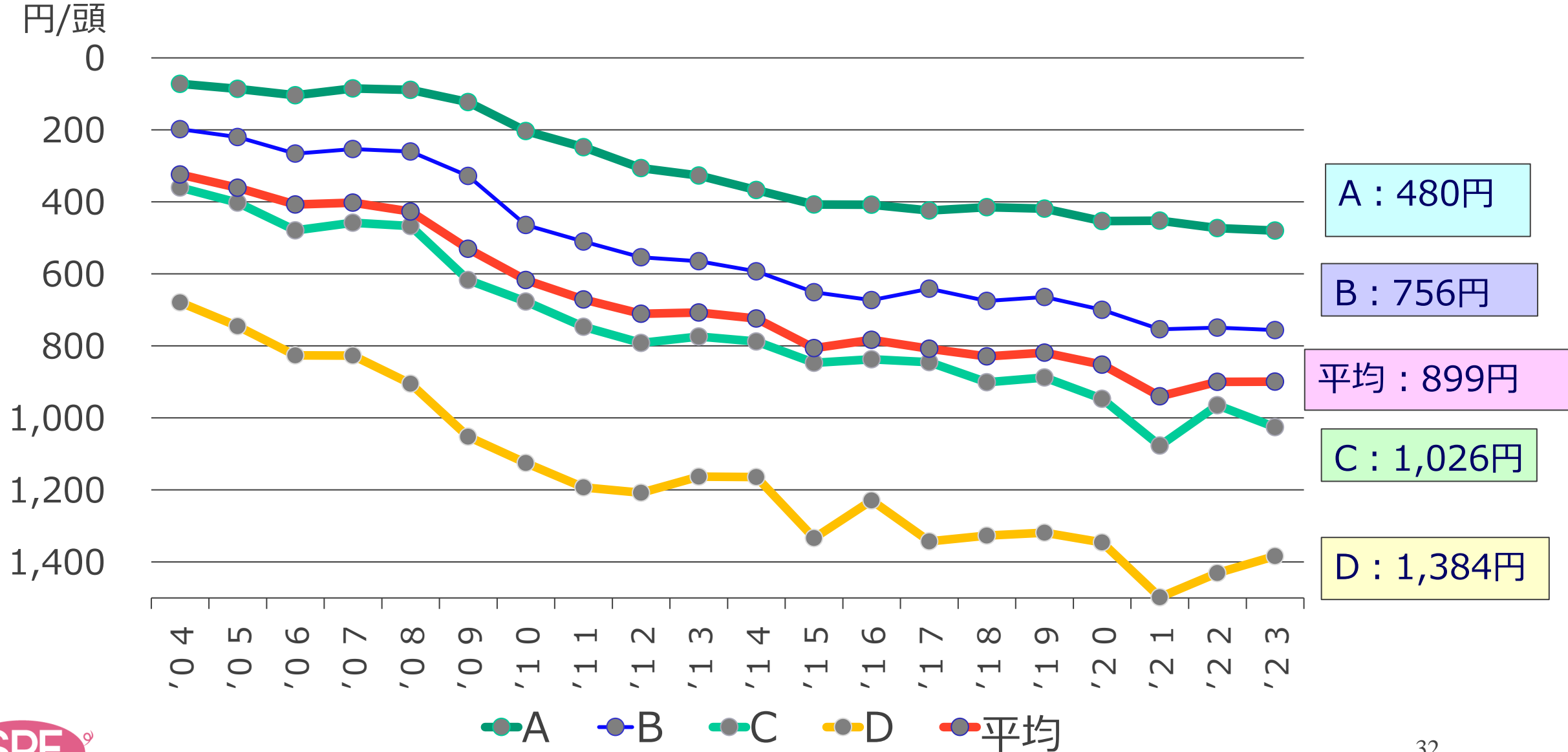
C : 27.14

D : 24.47

● A ● B ● C ● D ● 平均

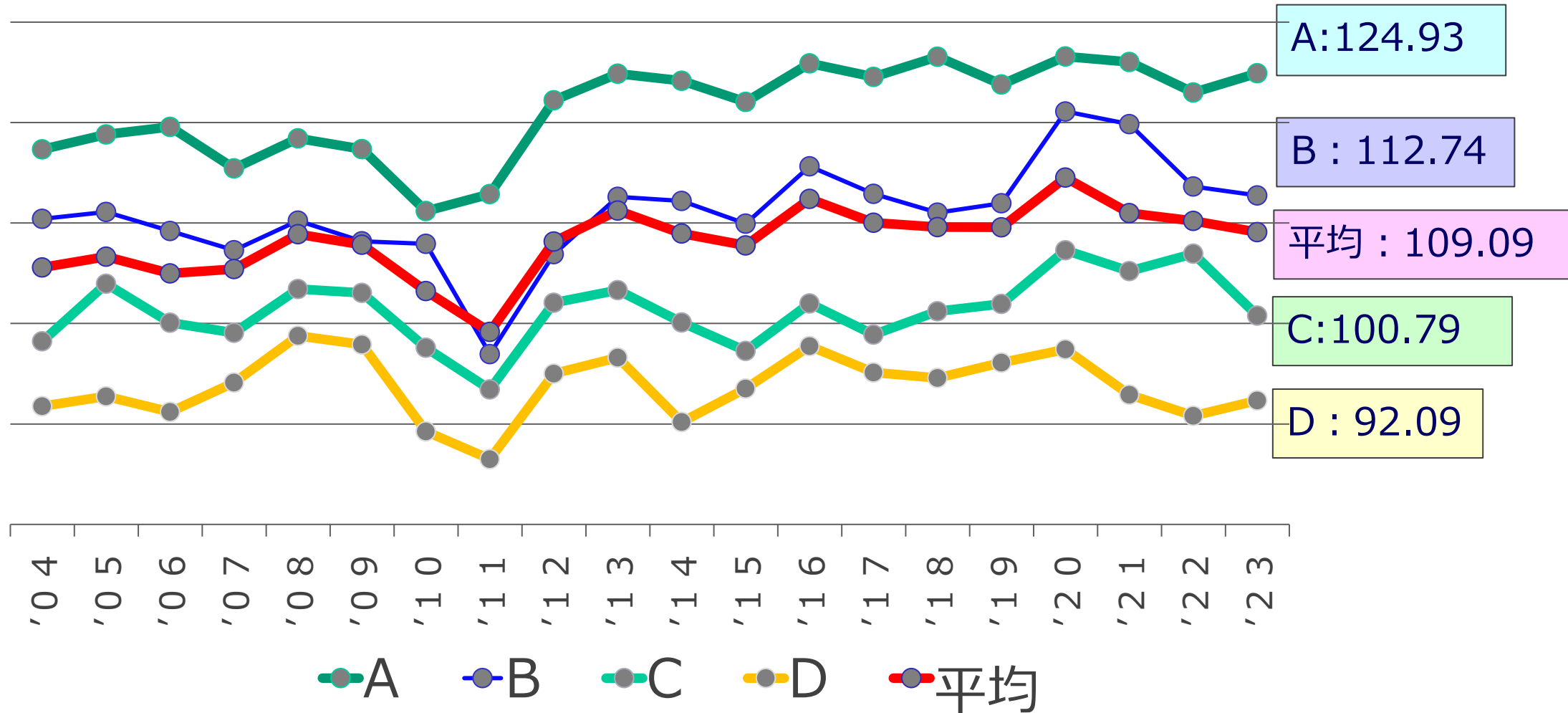


出荷肉豚1頭あたりB分類薬品費 (ワクチン)



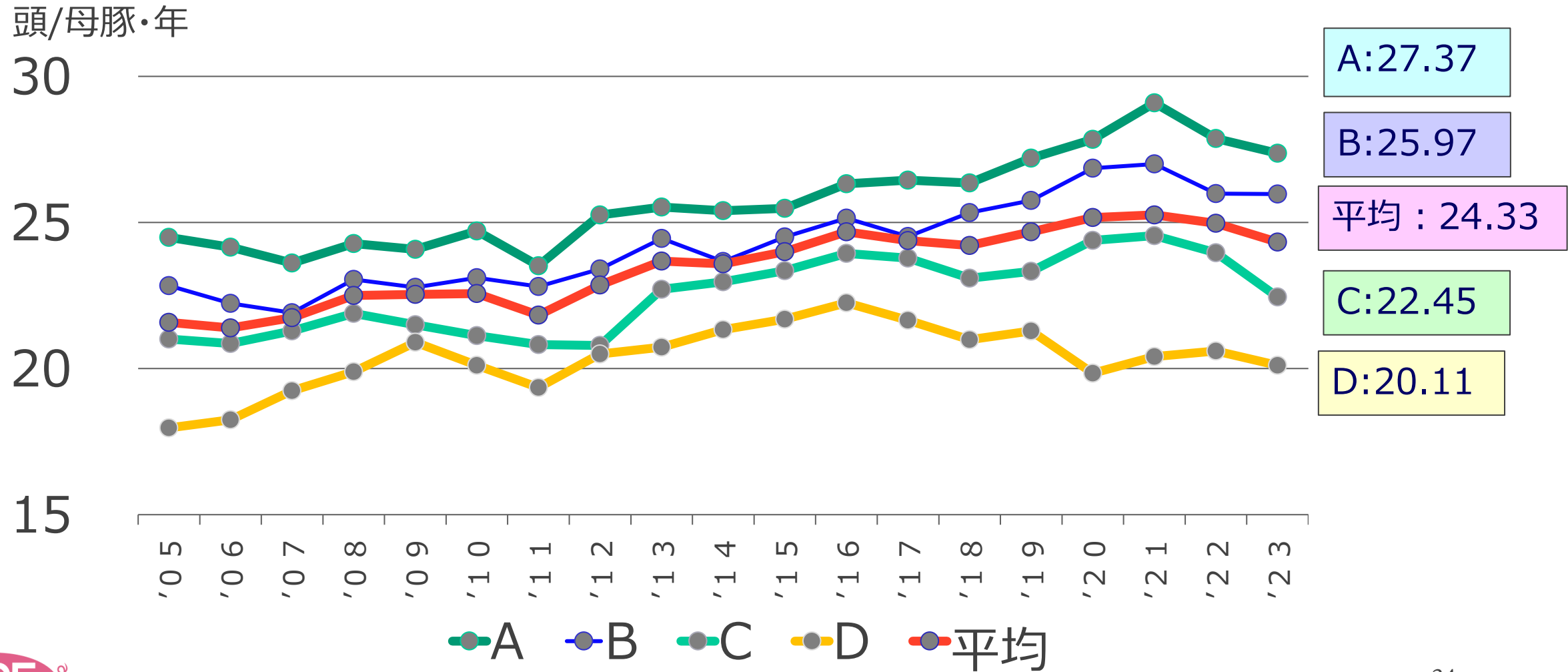
総合生産指数 (基準100ポイント)

ポイント
130
120
110
100
90
80



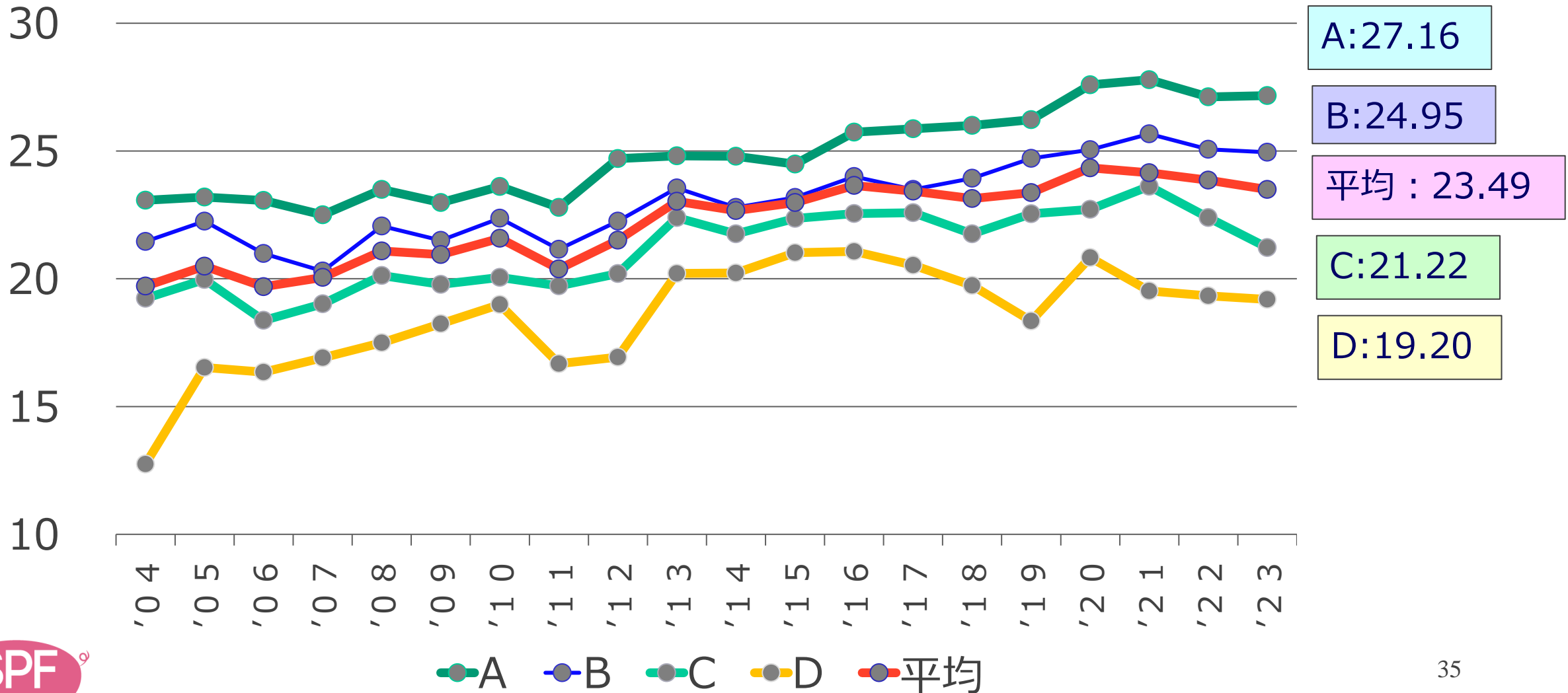
僅かに悪化：AクラスとDクラスで前年より改善するも、BクラスとCクラスで悪化。

1 母豚あたり年間離乳子豚頭数 (基準値22.53頭：20ホ°イ卜)



1 母豚あたり年間子豚出荷頭数 (基準値21.43頭 : 40ホ°イ卜)

頭/母豚・年

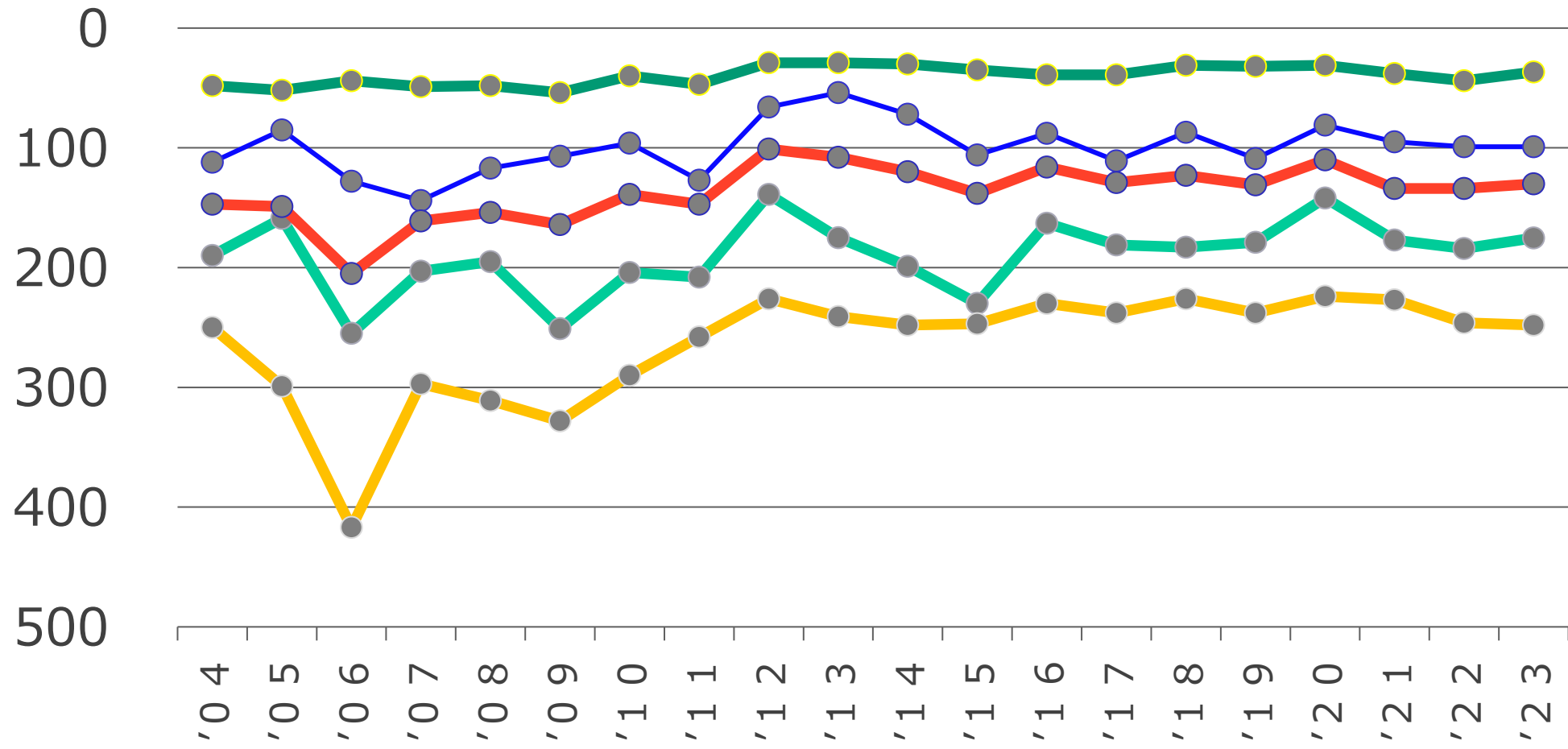


出荷子豚 1 頭あたりA分類薬品費（抗生物質等）

（繁殖II）

（基準値160円：20ホ°イト）

円/子豚



- A: 37円
- B: 99円
- 平均: 130円
- C: 175円
- D: 248円

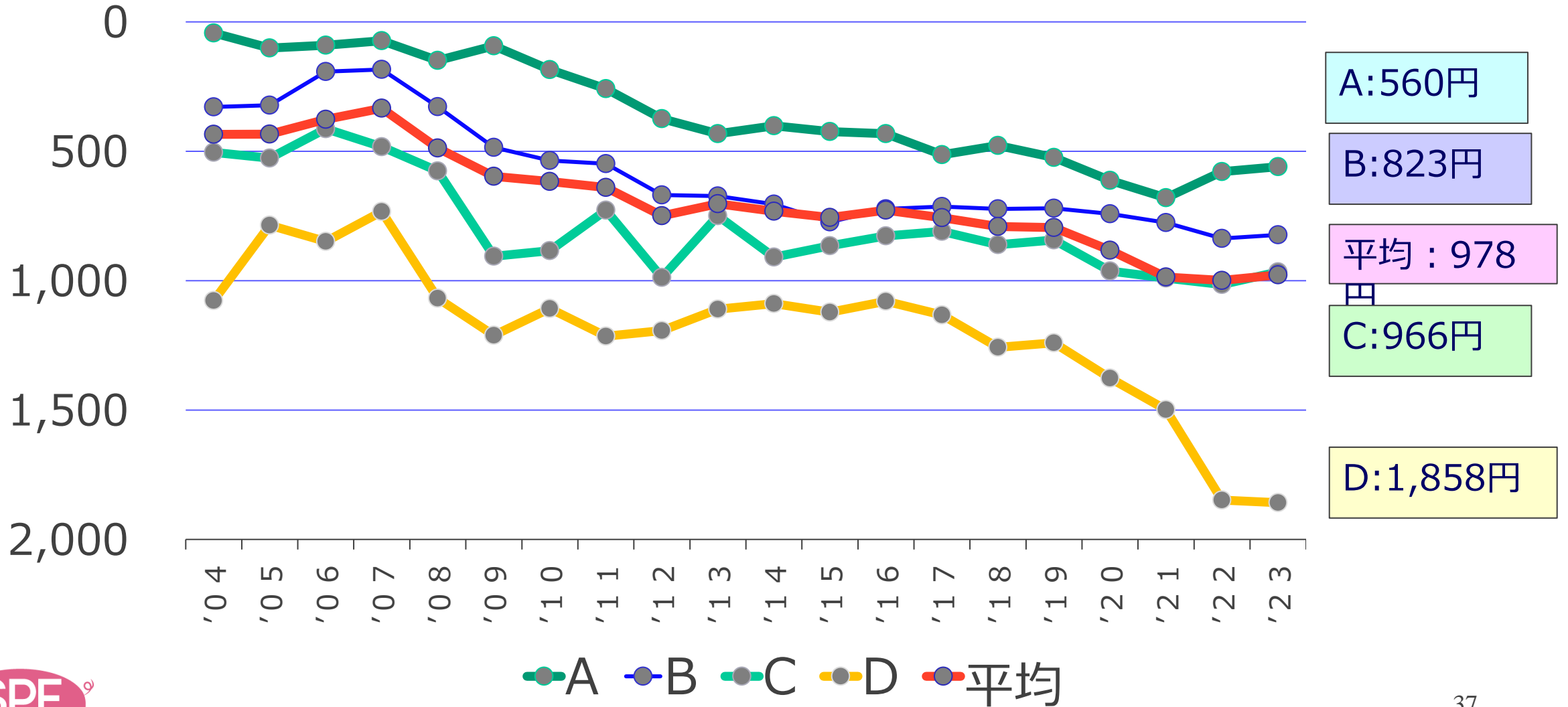
← 駆虫剤費を含む期間 →

● A ● B ● C ● D ● 平均

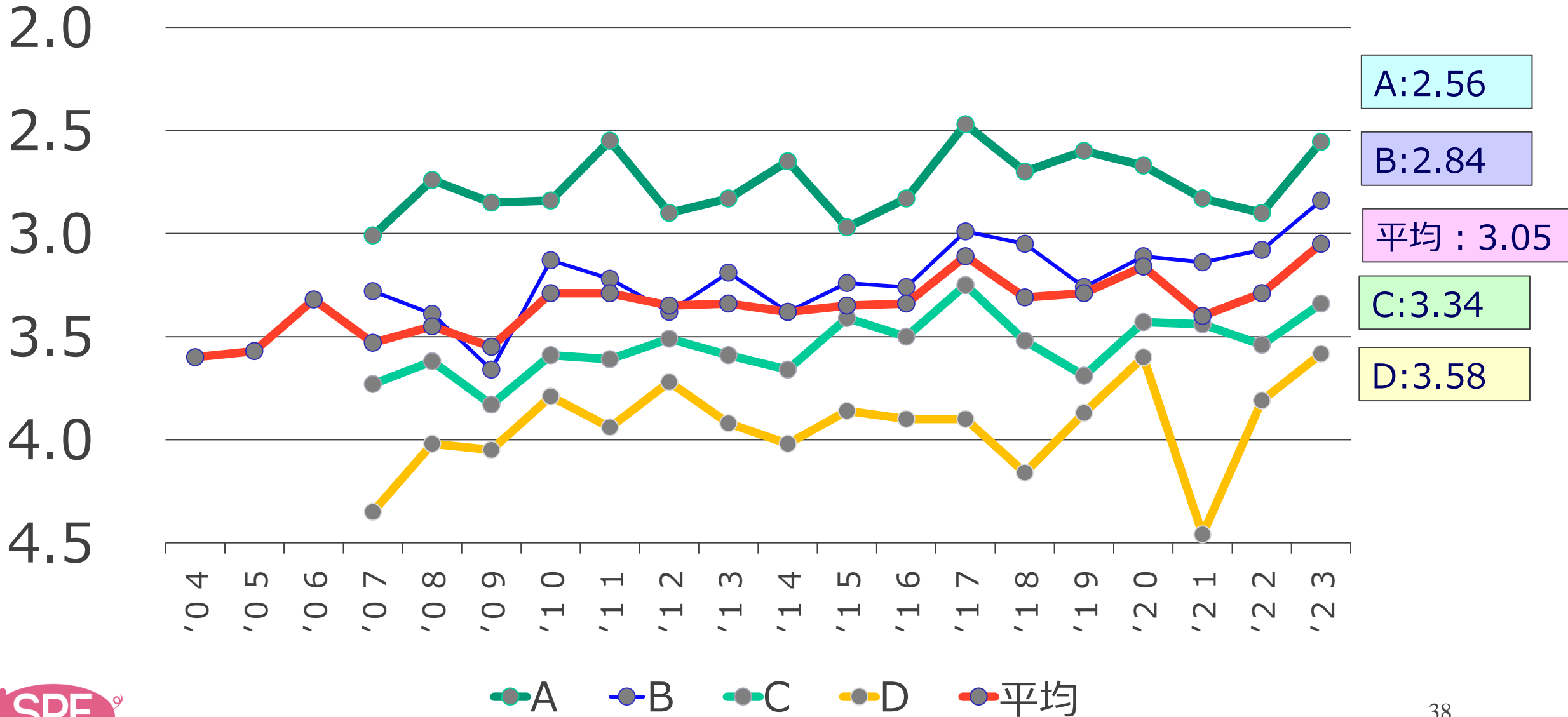


出荷子豚1頭あたりB分類薬品費 (ワクチン)

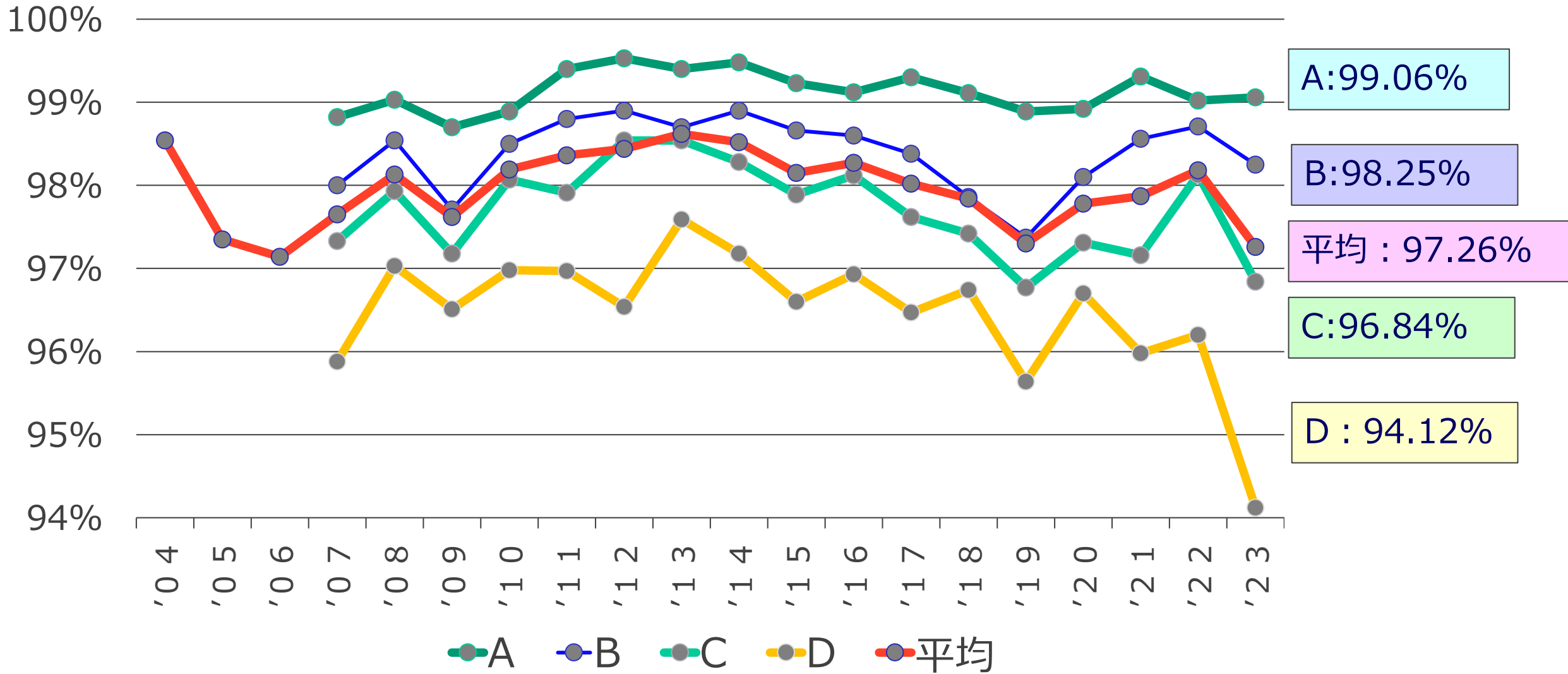
円/子豚



農場飼料要求率 (基準値3.30 : 55ポ°イ卜)

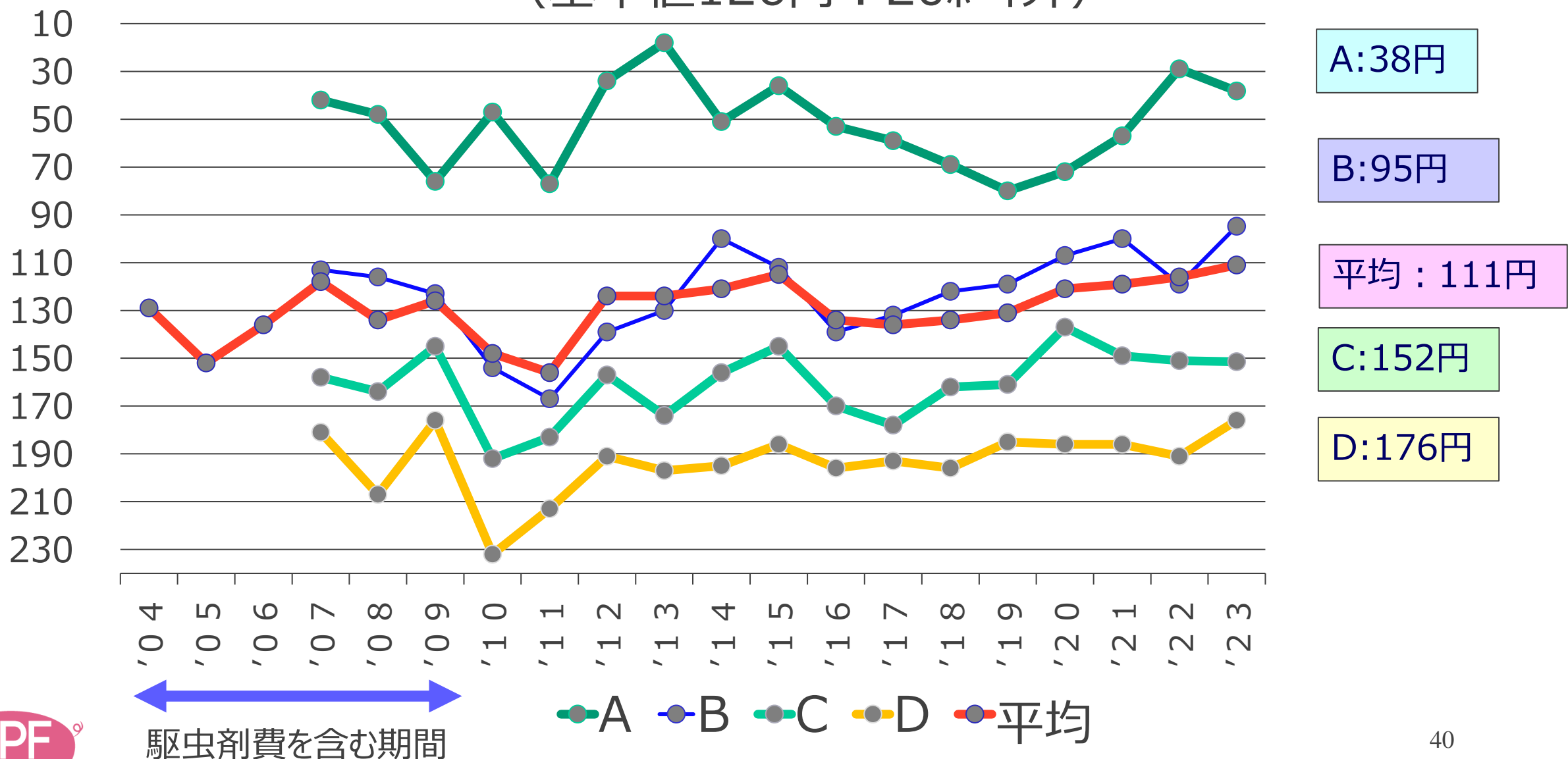


肉豚出荷率 (基準値97.5 : 25ホ°イ卜)



出荷肉豚 1 頭あたりA分類薬品費（抗生物質等） （基準値126円：20ポイント）

（肥育II）

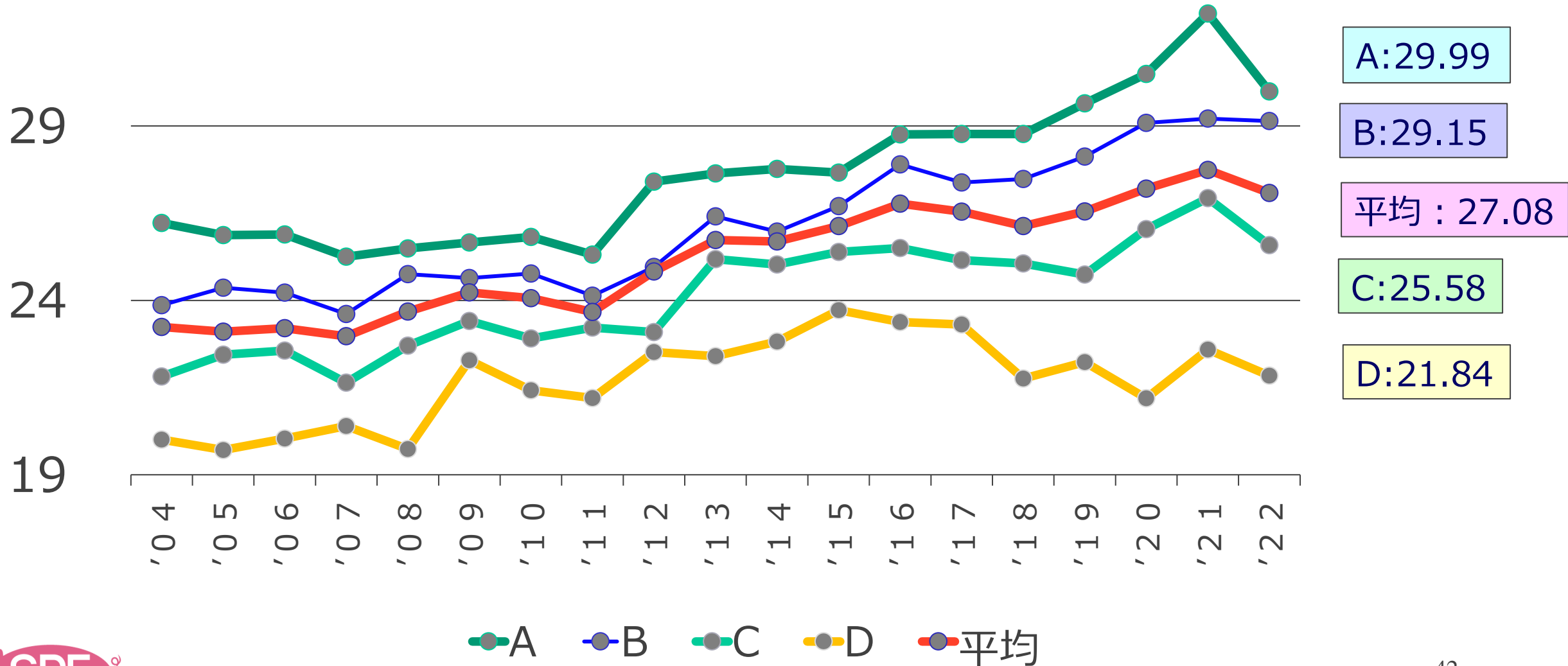


以下参考項目 資料

1 母豚当り年間哺乳開始頭数

(参考 繁殖Ⅱ)

頭 / 母豚・年

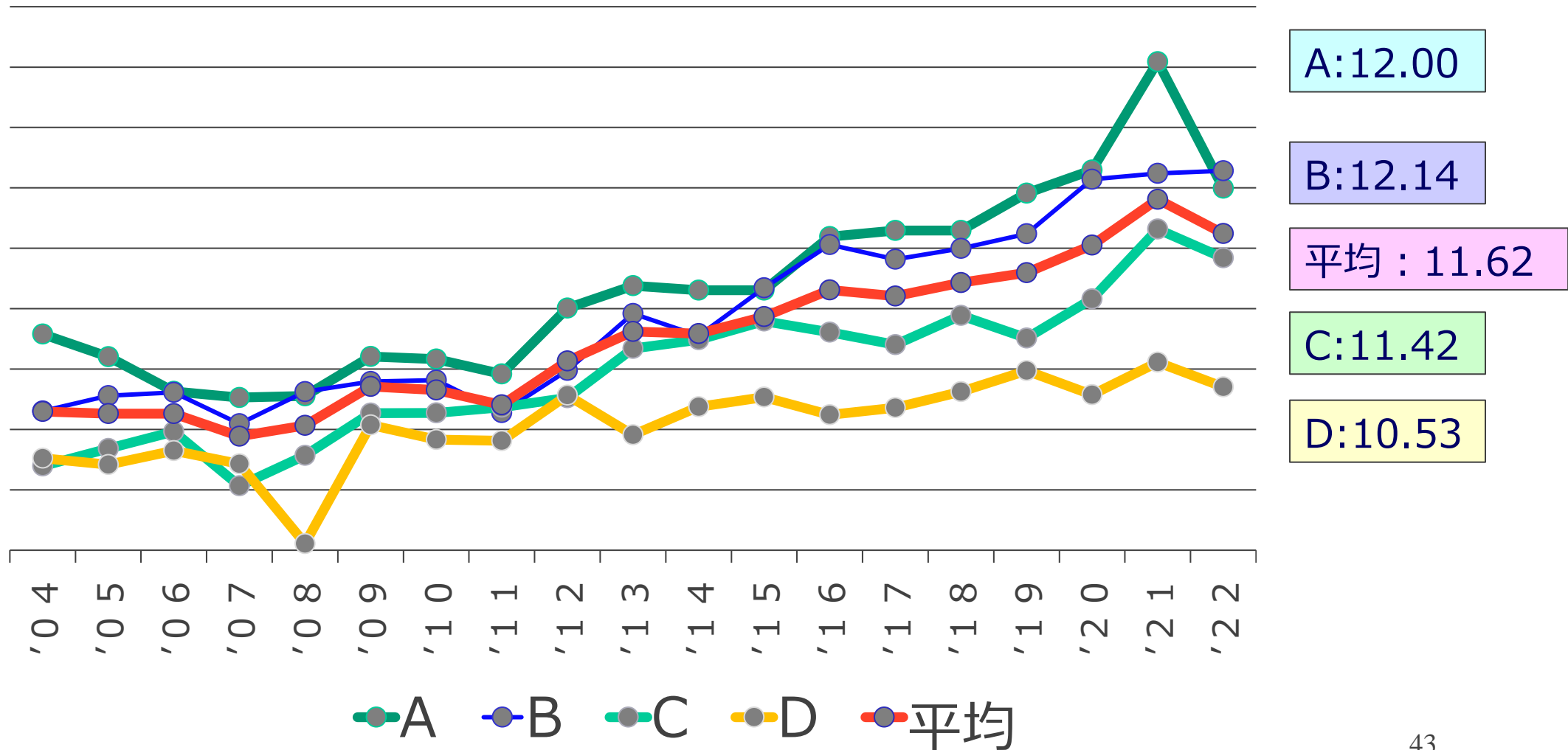


1 腹あたり哺乳開始頭数

(参考 一貫)

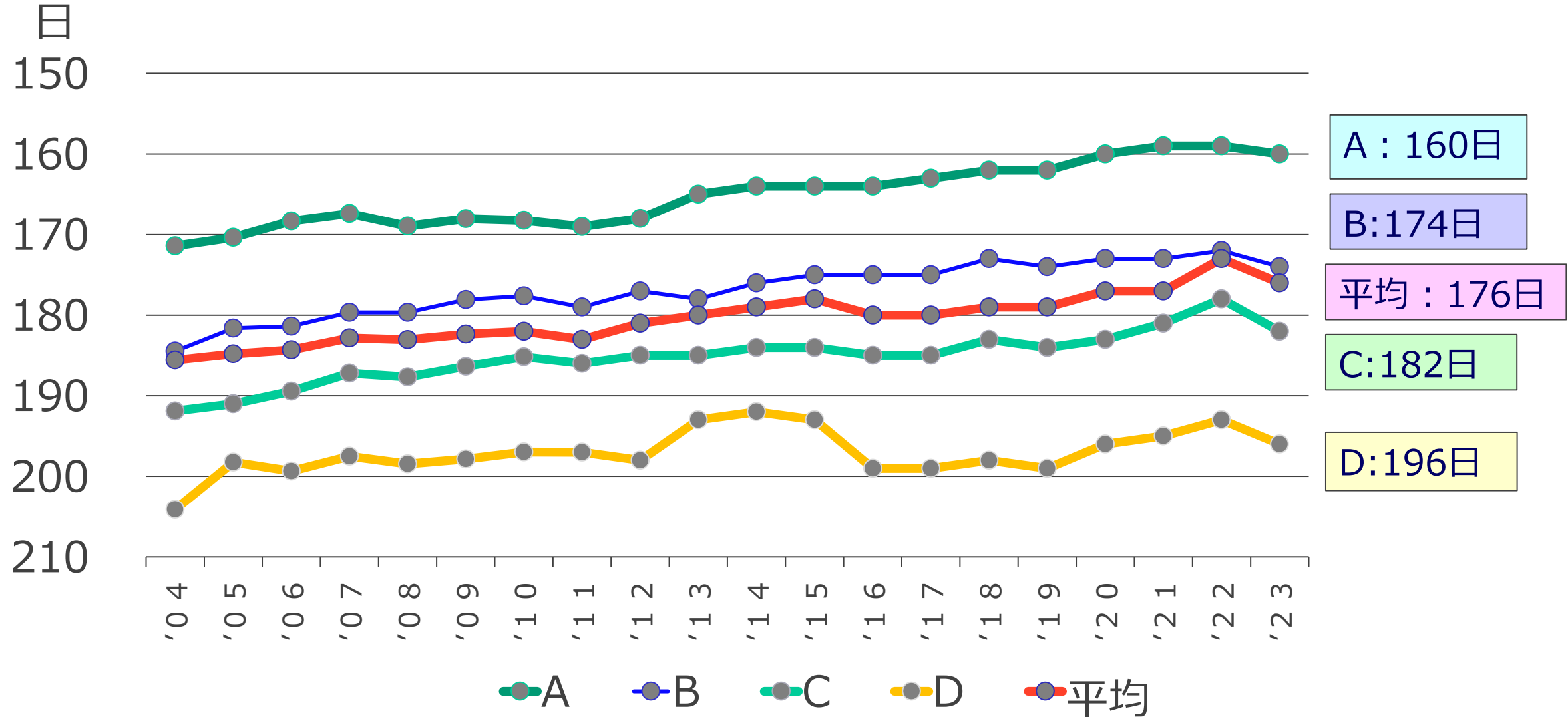
頭/腹

13.5
13.0
12.5
12.0
11.5
11.0
10.5
10.0
9.5
9.0



出荷日令

(参考一貫)



'23は前年比で3日延長、過去19年間で10日短縮

